平成２１年度就職支援体制調査事業

大学生の「社会人観」の把握と「社会人基礎力」の認知度向上実証に関する調査

平成２２年6月
経済産業省

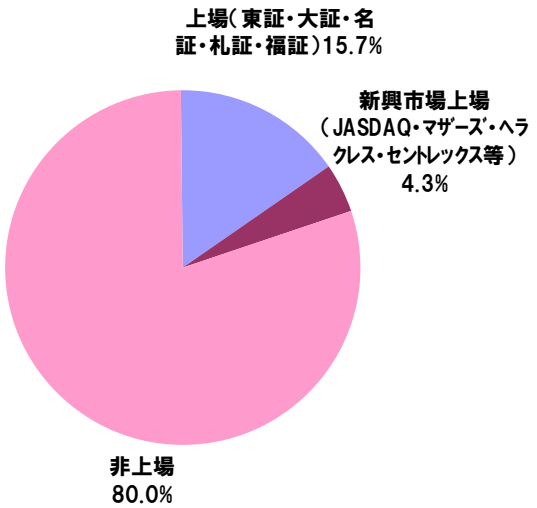
調査概要

①企業人事担当者へのアンケート調査

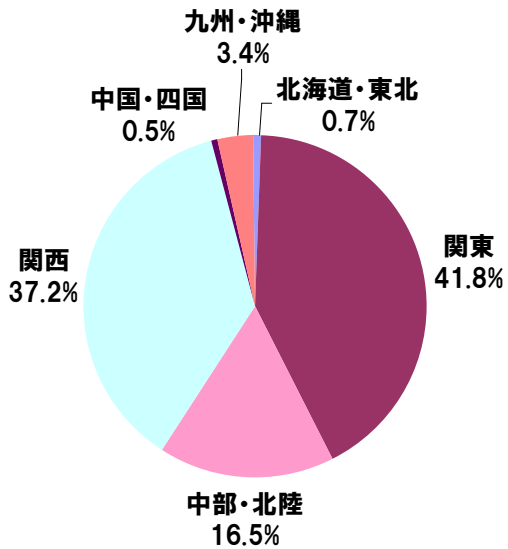
・調査方法：Web、郵送及び直接訪問による調査
・調査期間：平成21年11月23日～12月25日
・調査対象：全国の企業人事採用担当者
・有効回答：1，179件
・実施主体：株式会社学情

○調査対象の属性

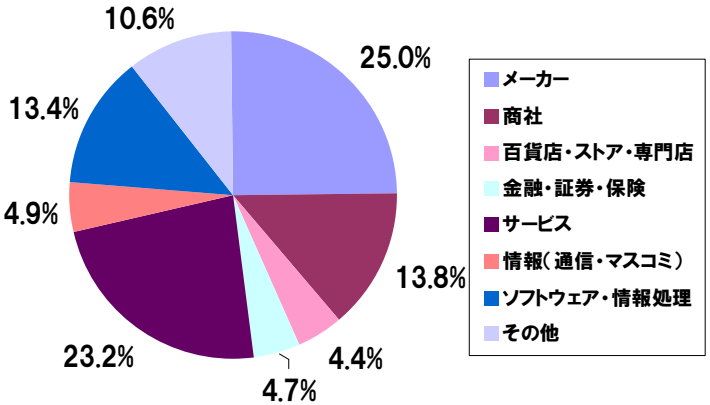
＜上場・非上場＞



＜本社所在地＞



＜業種＞



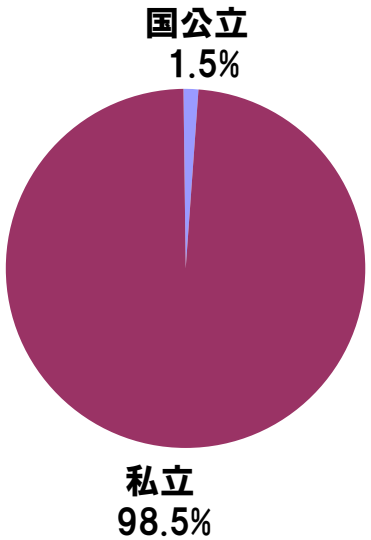
調査概要

②日本人学生へのアンケート調査

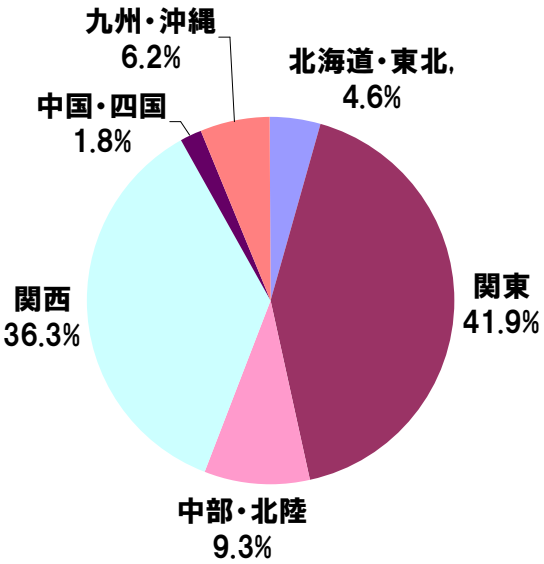
・調査方法：Web及び大学内キャリアガイダンス時等の直接記入による調査
・調査期間：平成21年11月23日～12月25日
・調査対象：全国の大学・修士課程・博士課程の日本人学生
・有効回答：1，598件
・実施主体：株式会社学情

○調査対象の属性

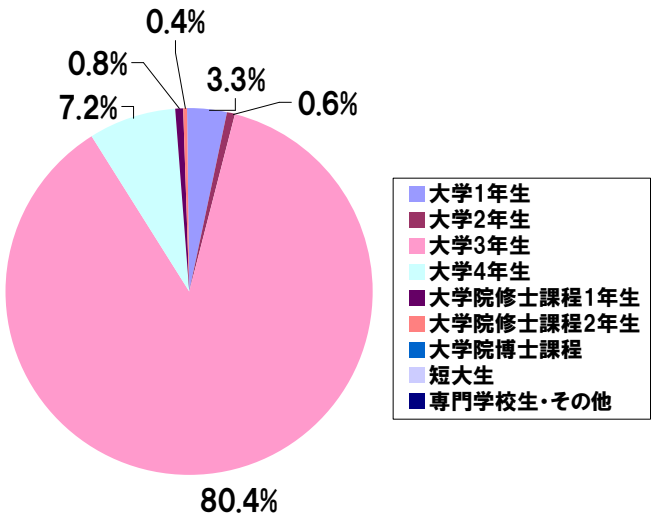
＜国公立・私立＞



＜大学所在地＞



＜所属学年＞



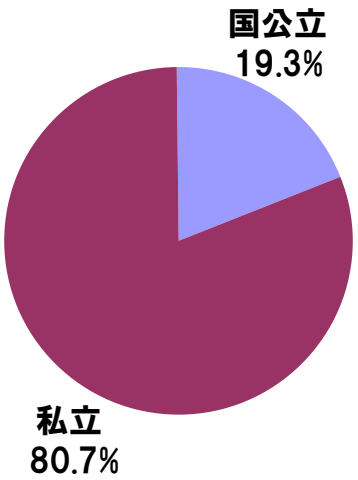
調査概要

③外国人留学生へのアンケート調査

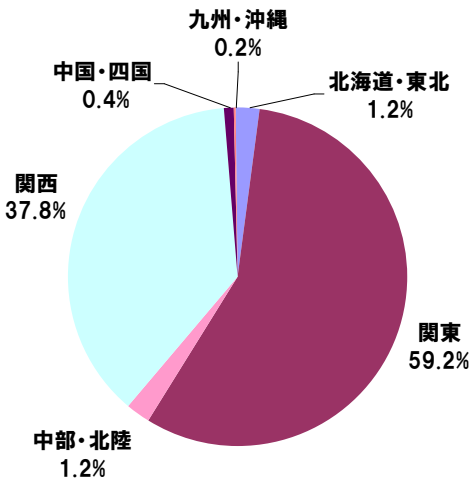
・調査方法：Web及び大学内キャリアガイダンス時等の直接記入による調査
・調査期間：平成21年11月23日～12月25日
・調査対象：日本への外国人留学生
・有効回答：528件
・実施主体：株式会社学情

○調査対象の属性

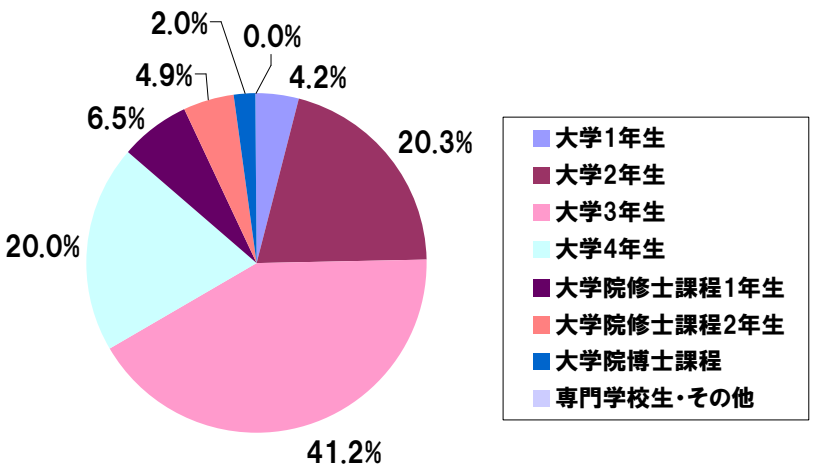
＜国公立・私立＞



＜大学所在地＞



＜所属学年＞



ポイント

- 企業が「**学生に求める能力要素**」と、学生が「**企業で求められていると考える能力要素**」には大きな差異が見られる。

- 企業が学生に対し「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション能力」といった「社会人基礎力」に類する内面的な能力要素の不足を感じている一方、学生はそれらの能力要素への意識は低く、「自分は既に身につけている」と考える傾向が見られる。

- 学生は「語学力」「業界に関する専門知識」「簿記」「ＰＣスキル」等の不足感を感じている一方、企業側はそれらの能力要素に対し特に不足感を感じていない。

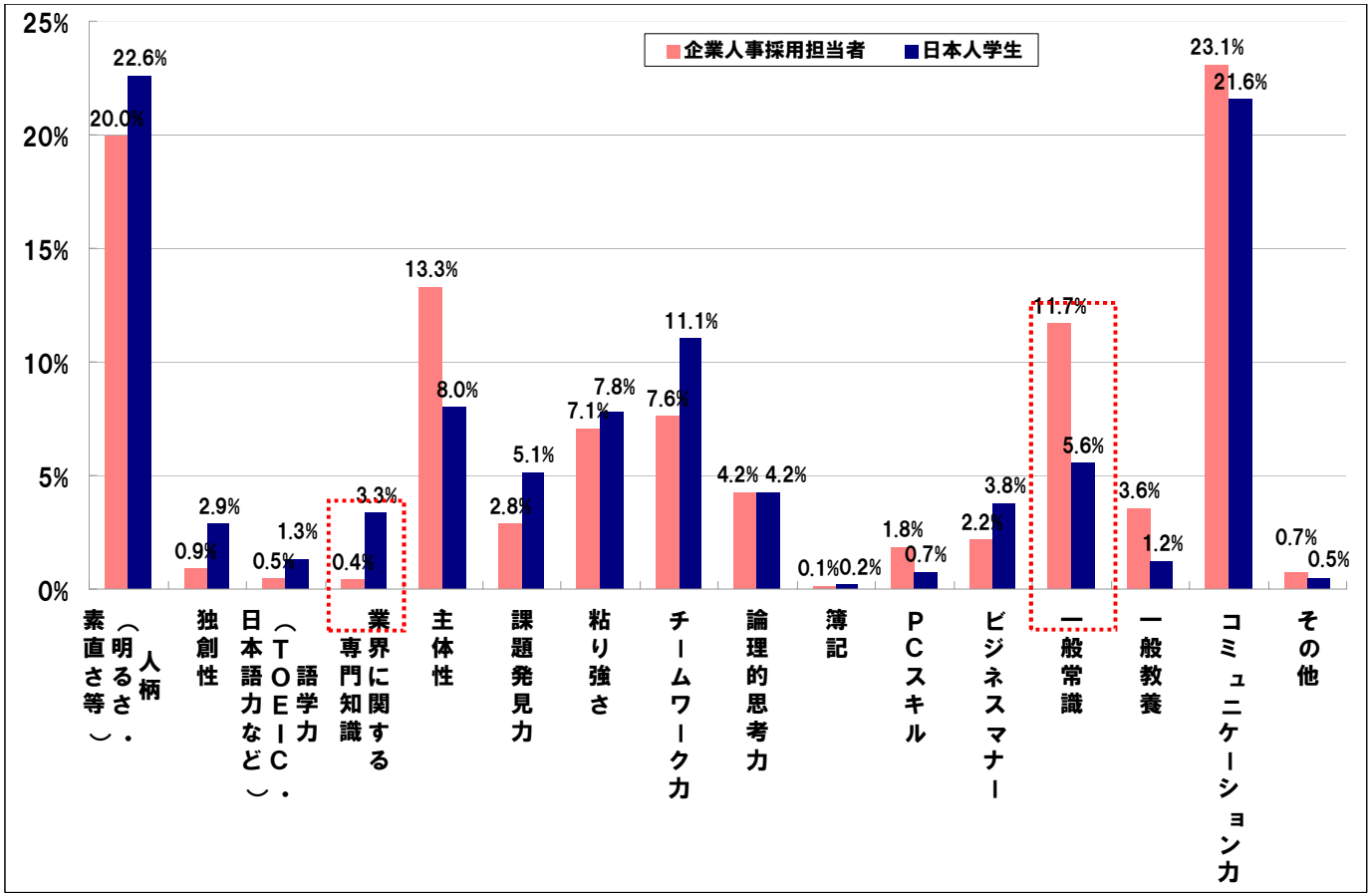
- 企業・学生ともに「社会人基礎力」3つの能力の中では、「前に踏み出す力」、１２の能力要素の中では、「実行力」を重視。

1：社会で活躍するために必要と考える能力要素

1‐1‐1 社会に出て活躍するために必要だと考える能力要素【対日本人学生・対企業】

・企業・日本人学生ともに「人柄（明るさや素直さ等）」「コミュニケーション力」を必要な能力要素と考えている。

・「一般常識」の必要性ならびに「業界に関する専門知識」への意識に差異が見られる。



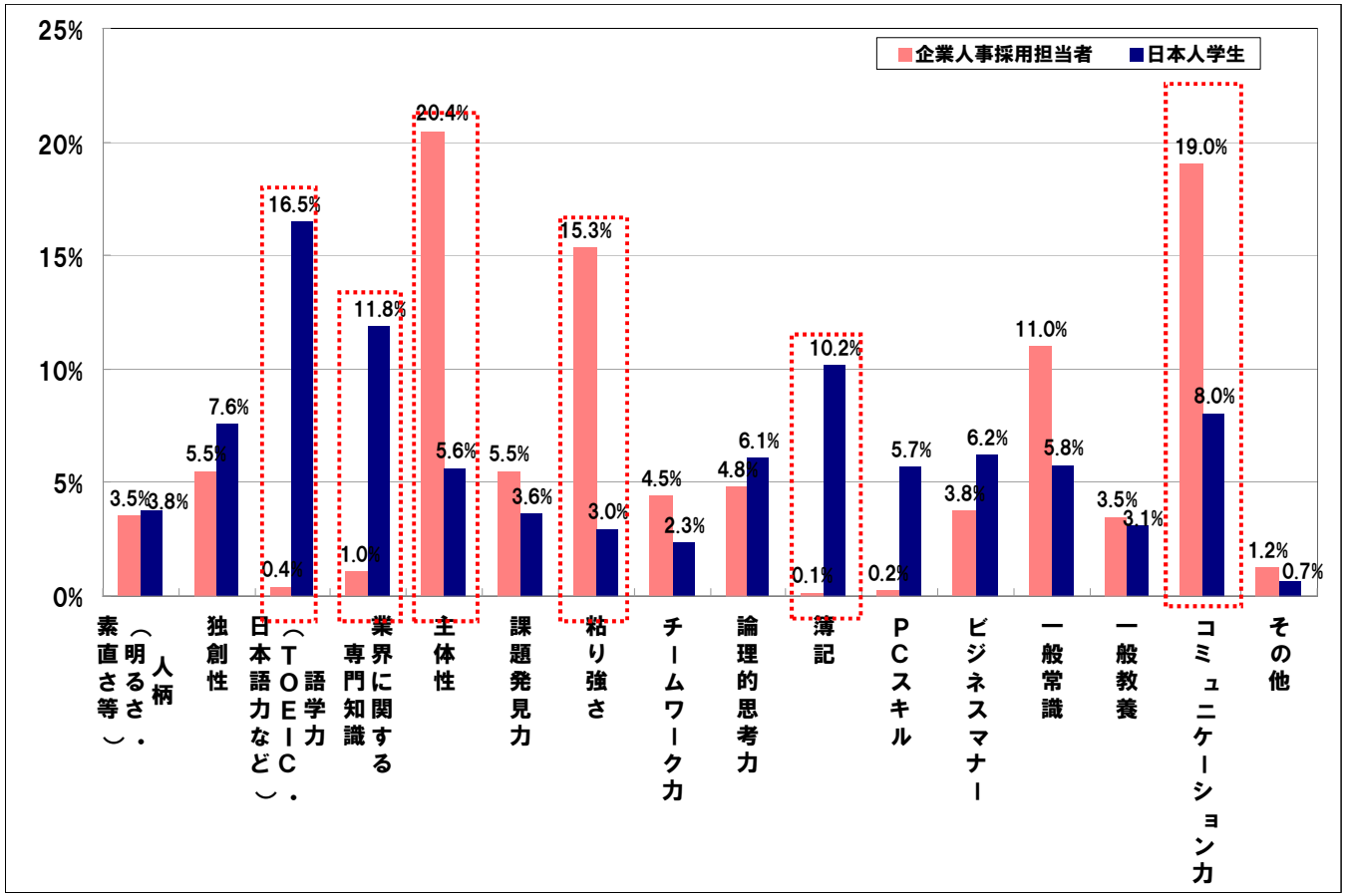
※上位3つまで回答

n： 3445 4319

1‐1‐2 自分に不足していると思う能力要素【対日本人学生】
学生に不足していると思う能力要素【対企業】

・企業側は学生に対し、「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション力」といった内面的な基本能力の不足を感じている。それに対して学生は、技術・スキル系の能力要素が自らに不足していると考えている。

・企業側が「学生に求める能力要素」と学生が「企業から求められていると考えている能力要素」ならびにその水準には、大きなギャップが存在する。

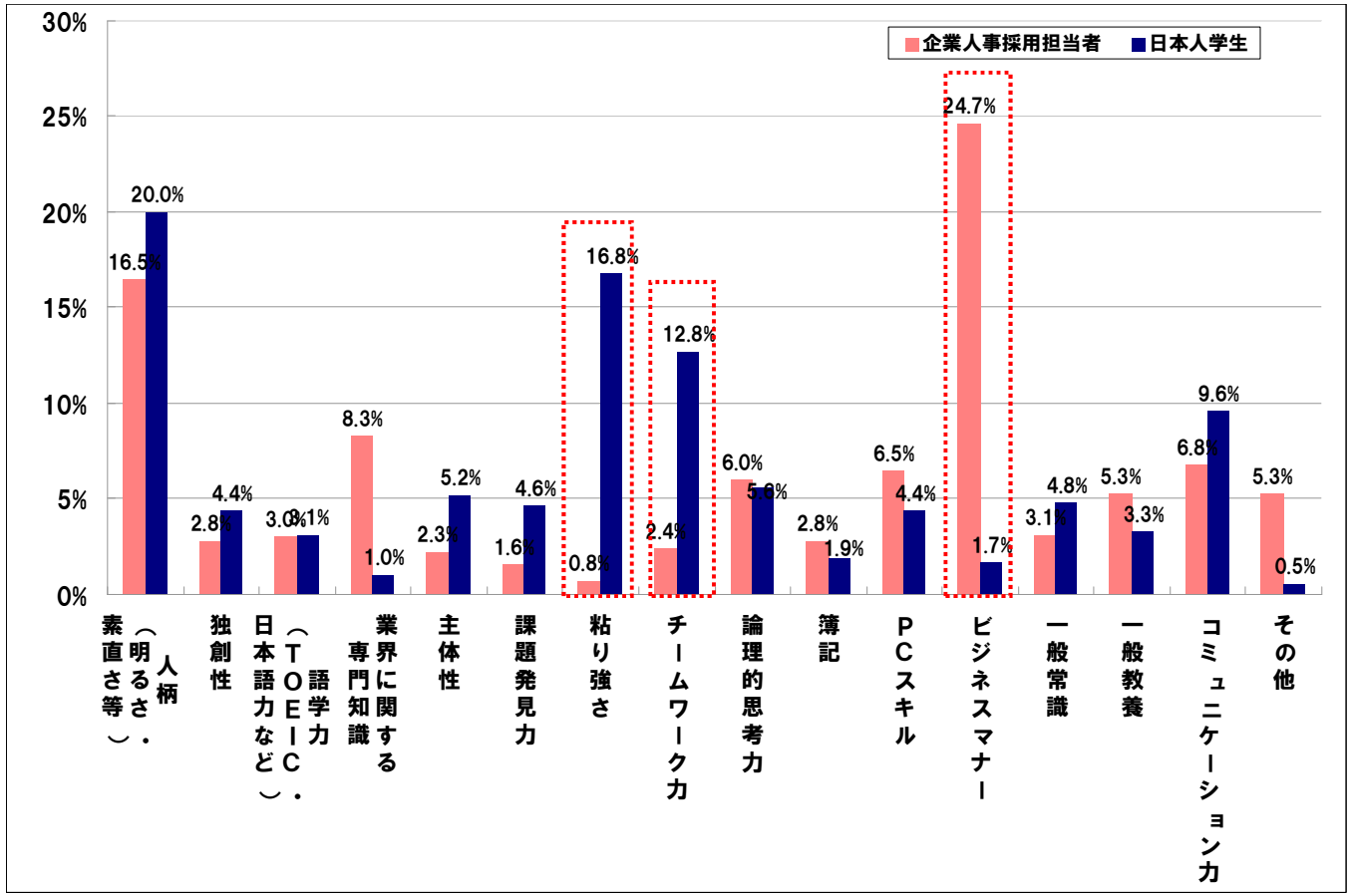


※上位3つまで回答

n： 2958 4095

1‐1‐3　自分が既に身に付けていると思う能力要素【対日本人学生】
学生が既に身に付けていると思う能力要素【対企業】

・学生側は「チームワーク力」「粘り強さ」といった能力要素に関して、既に身に付けていると考えている。しかし企業側は、その水準に達していないと考えている。

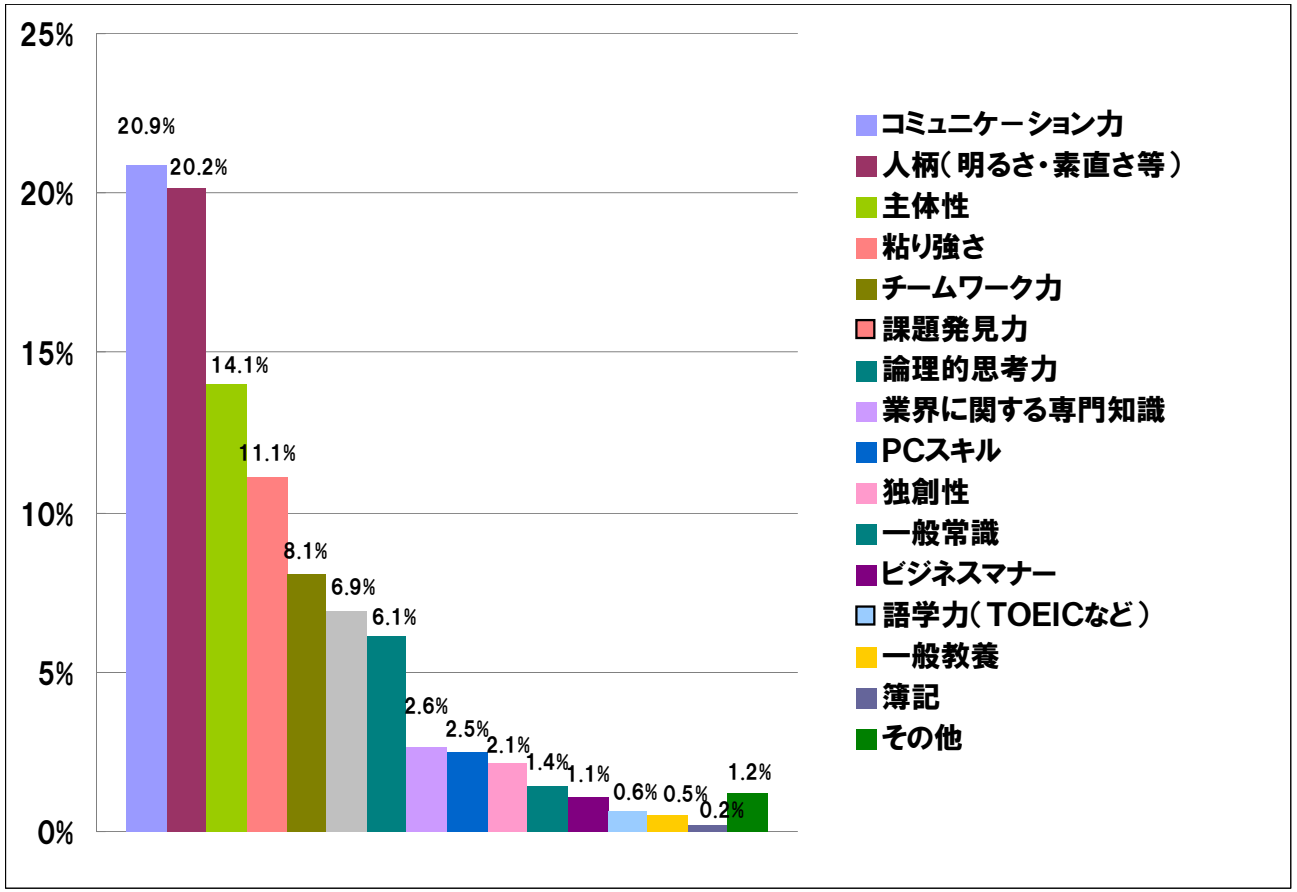


※上位3つまで回答

n：　1939　3697

1‐1‐4 自社で活躍している若手人材（ハイパフォーマー）が共通して持っている能力要素【対企業】

・「コミュニケーション力」、「人柄（明るさ・素直さ等）」が突出して多く、次に「主体性」と続く。



※上位3つまで回答

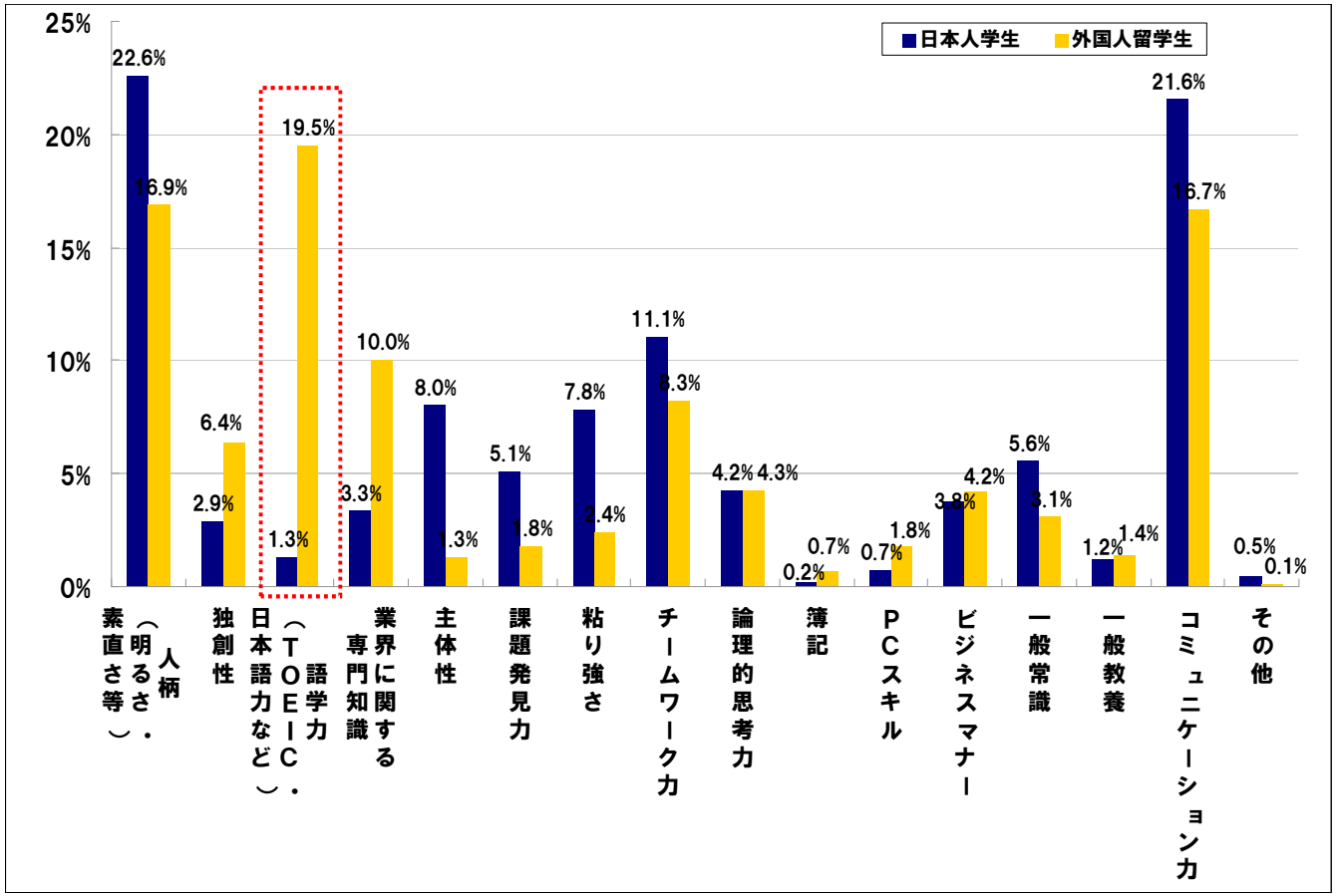
企業人事採用担当者

n： 3091

1－2－1 社会に出て活躍するために必要だと考える能力要素【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生・外国人留学生ともに、「人柄（明るさや素直さ等）」、「コミュニケーション力」を、社会に出て活躍するために必要な能力と考えている学生が多い中、外国人留学生は「語学力（TOEIC・日本語力など）」が回答数として最も多かった。

・留学生として日本で就職する場合、語学力が必要不可欠と考える留学生が多いと考えられる。



※上位3つまで回答

n: 4319 1409

1‐2‐2　1‐2‐1の回答理由

日本人学生

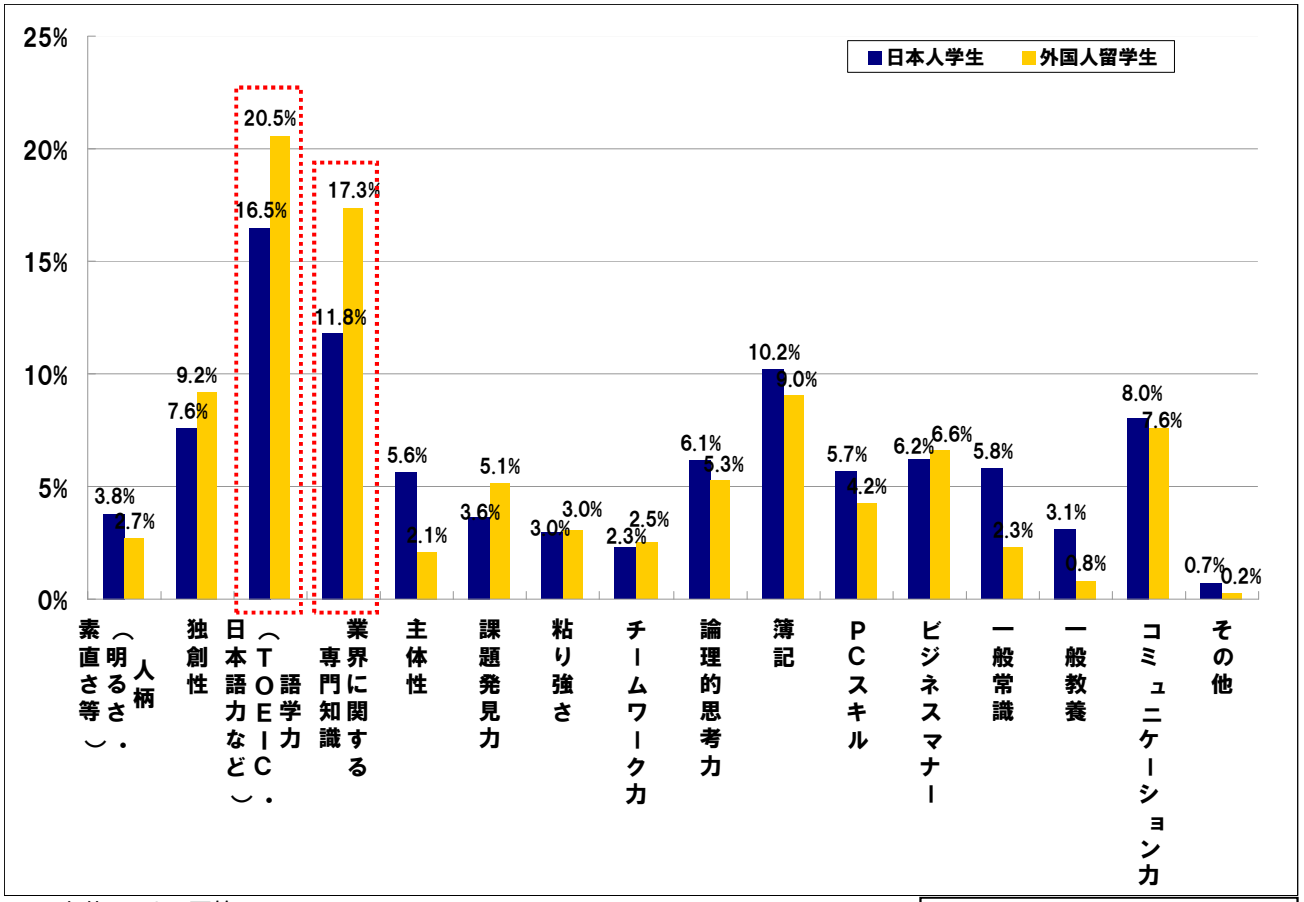
・インターシップに参加した際の社会人の方の働きぶりを見てそのように感じたから
・仕事をやっていく上で必要な能力だと思うから
・仕事は1人で行うことが出来ないから
・集団で成果を出すためには、チームワークが必要だから
・コミュニケーション力は人間関係を構築する上で必要な能力だと思うから　　等

外国人留学生

・資格は就職するとき、一番重要な武器だと思うから
・相手に対する態度によって結果が変わることがあるから重要だと思う
・人柄が大事だと思うから
・仕事は一人では行えないから、チームワークがとても大事だと思う
・国際化の現代社会、語学力やコミュニケーション力は不可欠なものである。そして、職場で人々の間の協力も必要なので、チームワーク力も大切だと思っている
・日本人とコミュニケーションをとる力及び、ビジネスマナーが大事だから
・留学生として就職する場合、語学力がない限り、相手にしてくれない気がするから
・留学生なので、日本語力は絶対いると思うから　　等

1－2－3 自分に不足していると思う能力要素 【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生・外国人留学生ともに、自分自身に不足している能力として、「語学力（TOEIC・日本語力など）」、「業界に関する専門知識」、「簿記」との回答が多かった。技能・スキル系の能力要素を活躍するために必要と考える日本人学生・外国人留学生がともに多い。



※上位3つまで回答

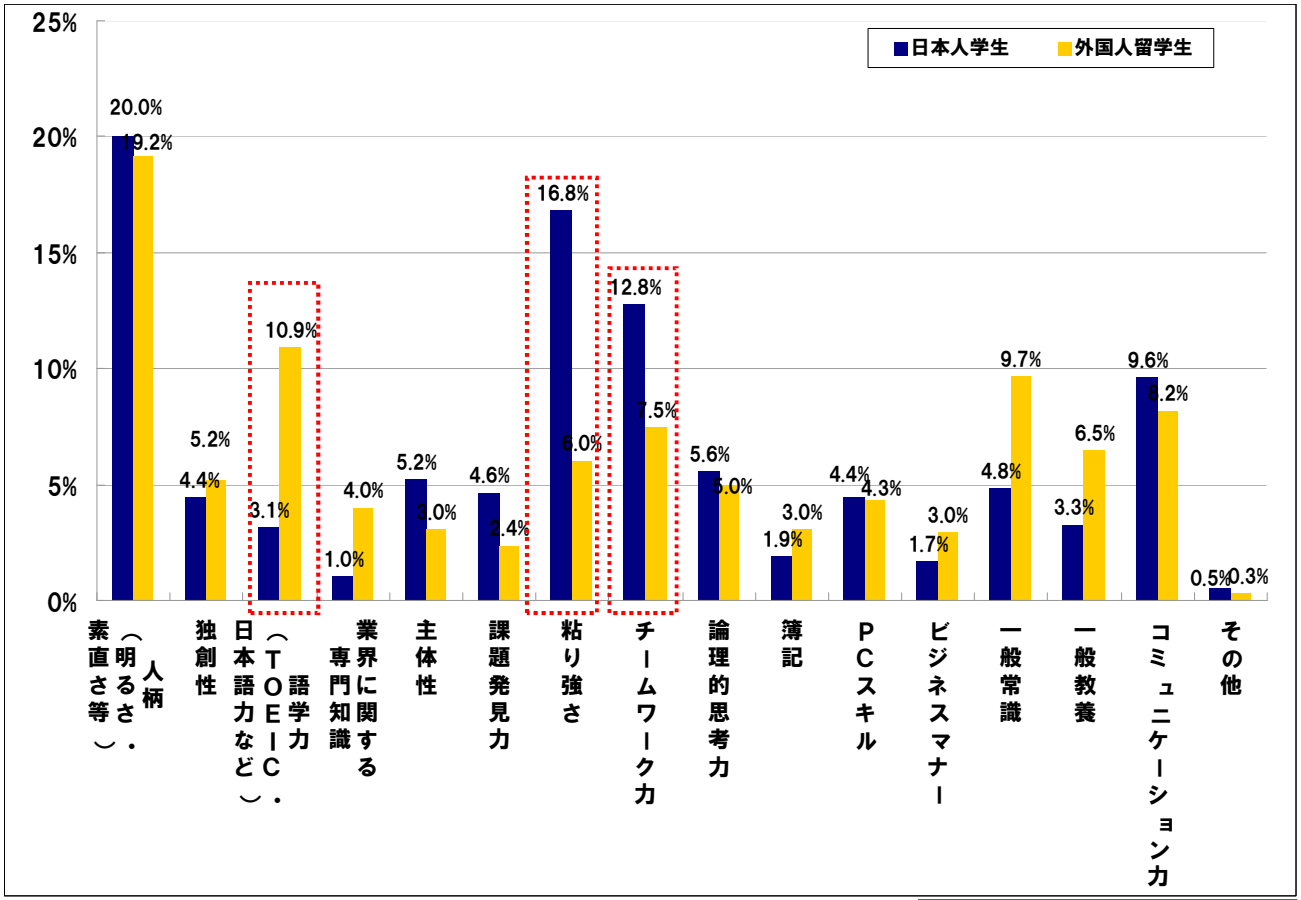
n: 4095 1234

1‐2‐4 自分が既に身につけていると思う能力要素 【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生・外国人留学生ともに、「人柄（明るさ・素直さ等）」を既に身に付けていると考えているとの回答が最も多い。

・日本人学生の方が「粘り強さ」「チームワーク力」に自信を持っている。

※しかし企業が求める水準とは大きな乖離がある（→1-1-2、1-1-3参照）

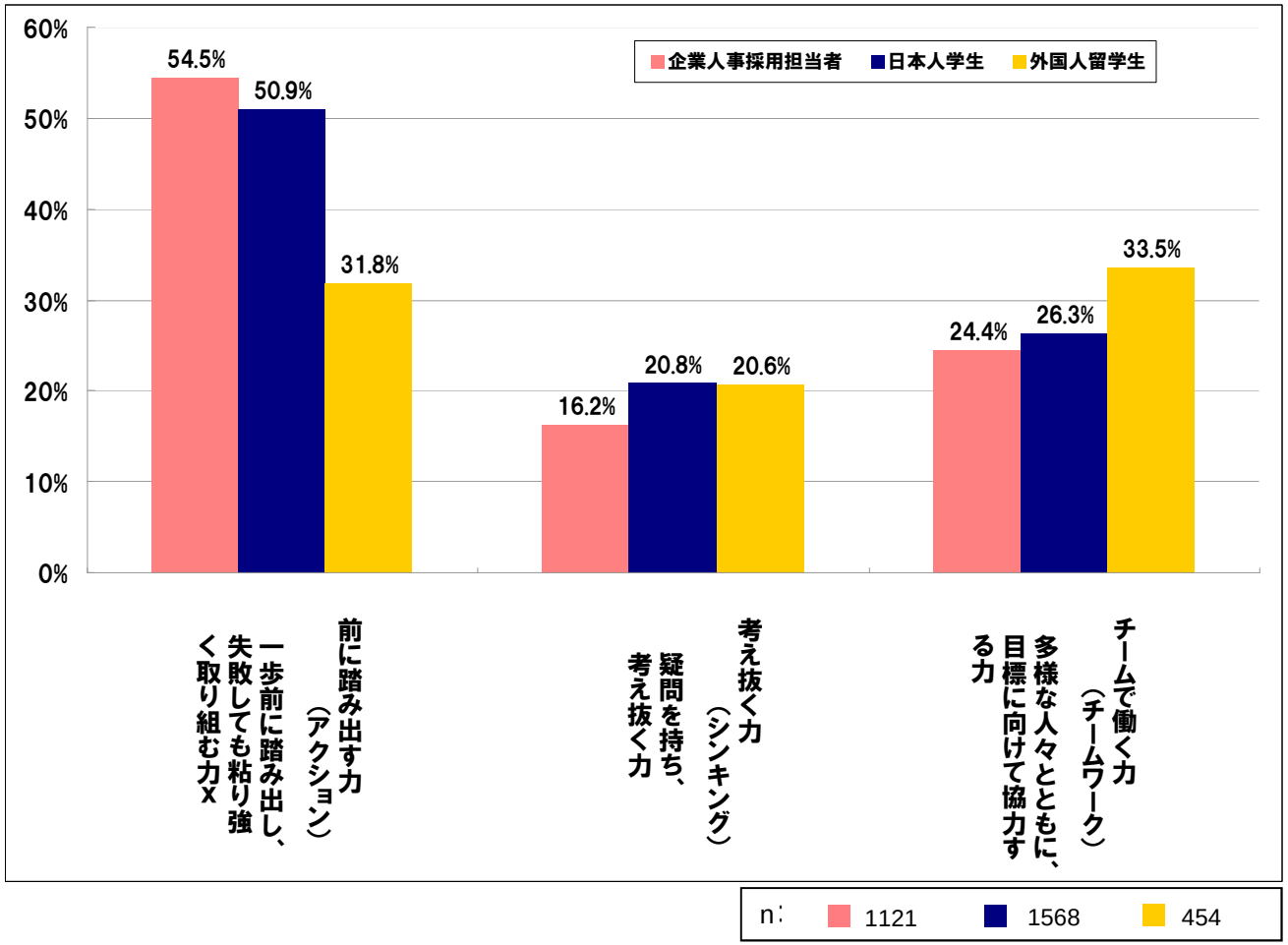


※上位3つまで回答

n: 3697 1287

1－3－1　「社会人基礎力」の3つの能力のうち、最も重要だと考える能力【対学生・対企業】

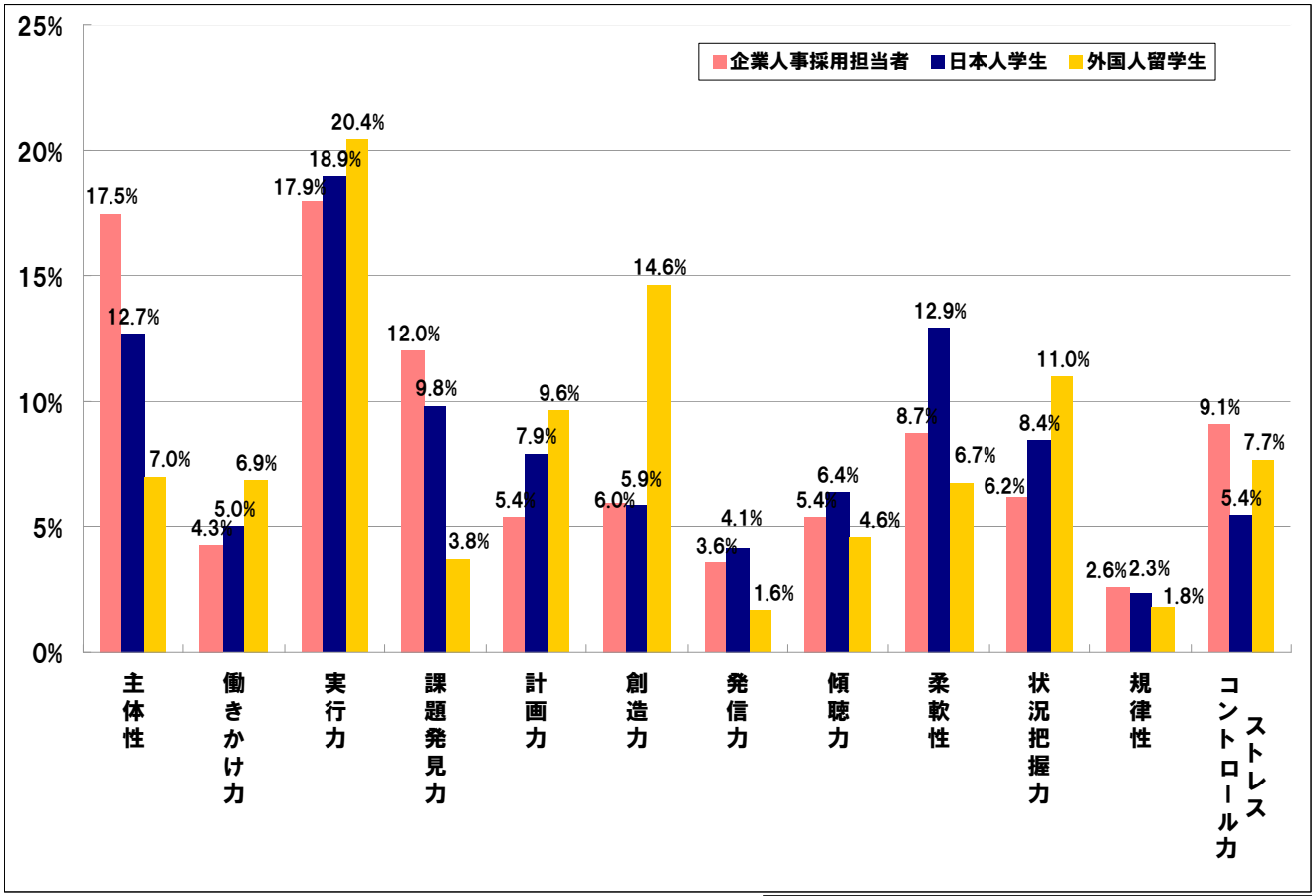
・企業・日本人学生ともに、「前に踏み出す力（アクション）：一歩前に踏み出し、失敗をしても粘り強く取り組む力」が回答数として最も多かった。



1－3－2　「社会人基礎力」の12の能力要素のうち、重要だと考える能力要素　【対学生・対企業】

・企業・日本人学生ともに、「実行力」が最も多い。「主体性」への回答も多いことから、社会で活躍するのは「自ら進んで実行できる」人間であるとの意識が強いと考えられる。

・外国人留学生は「創造力」「実行力」を重視する意識が高い。



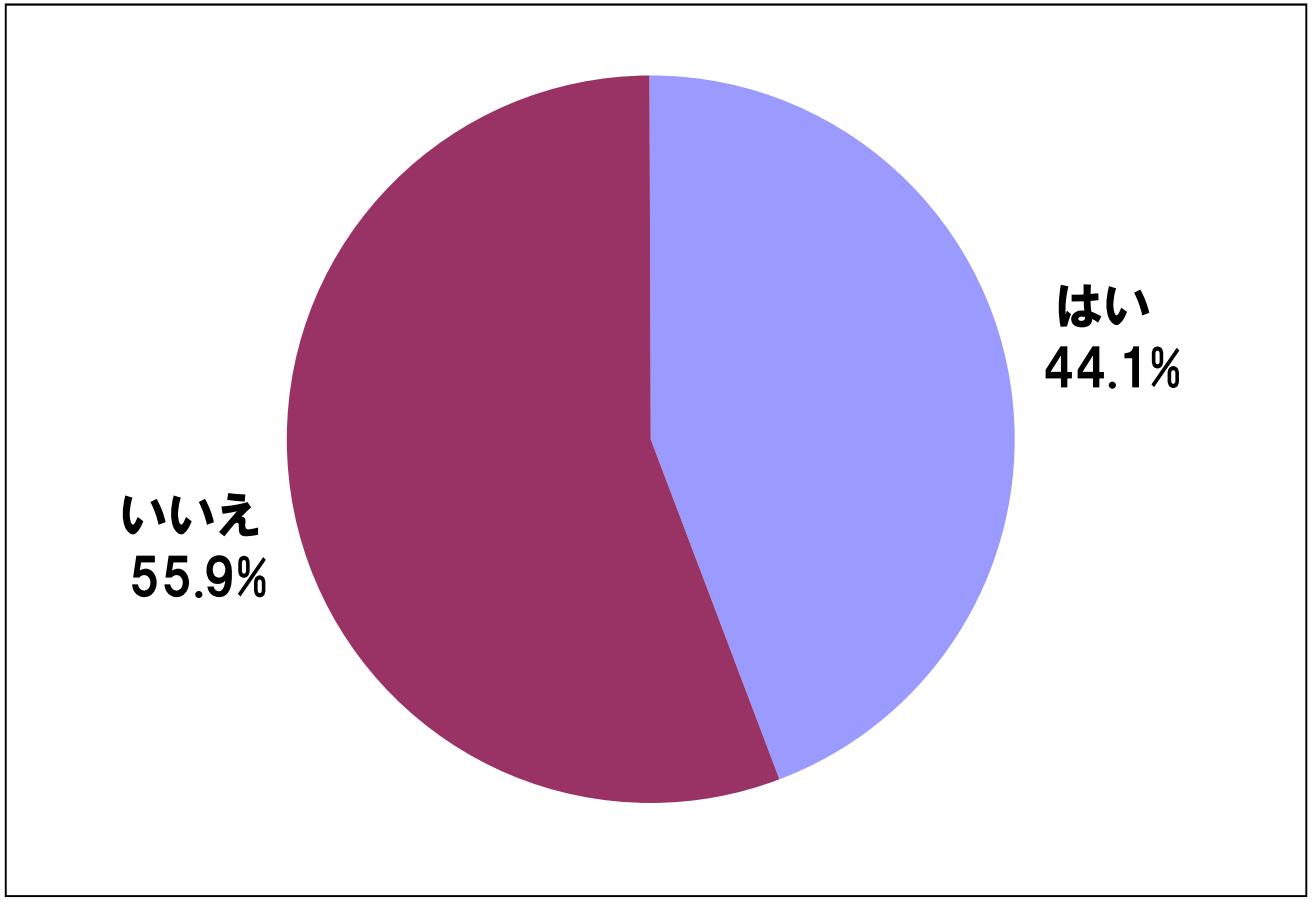
※上位3つまで回答

n：　3153　4146　1223

2：「社会人基礎力」の認知度や活用など

２‐１‐１　経済産業省が提唱している「社会人基礎力」という概念を知っているか【対企業】

企業人事における「社会人基礎力」の認知度は４４．１％にとどまっている。

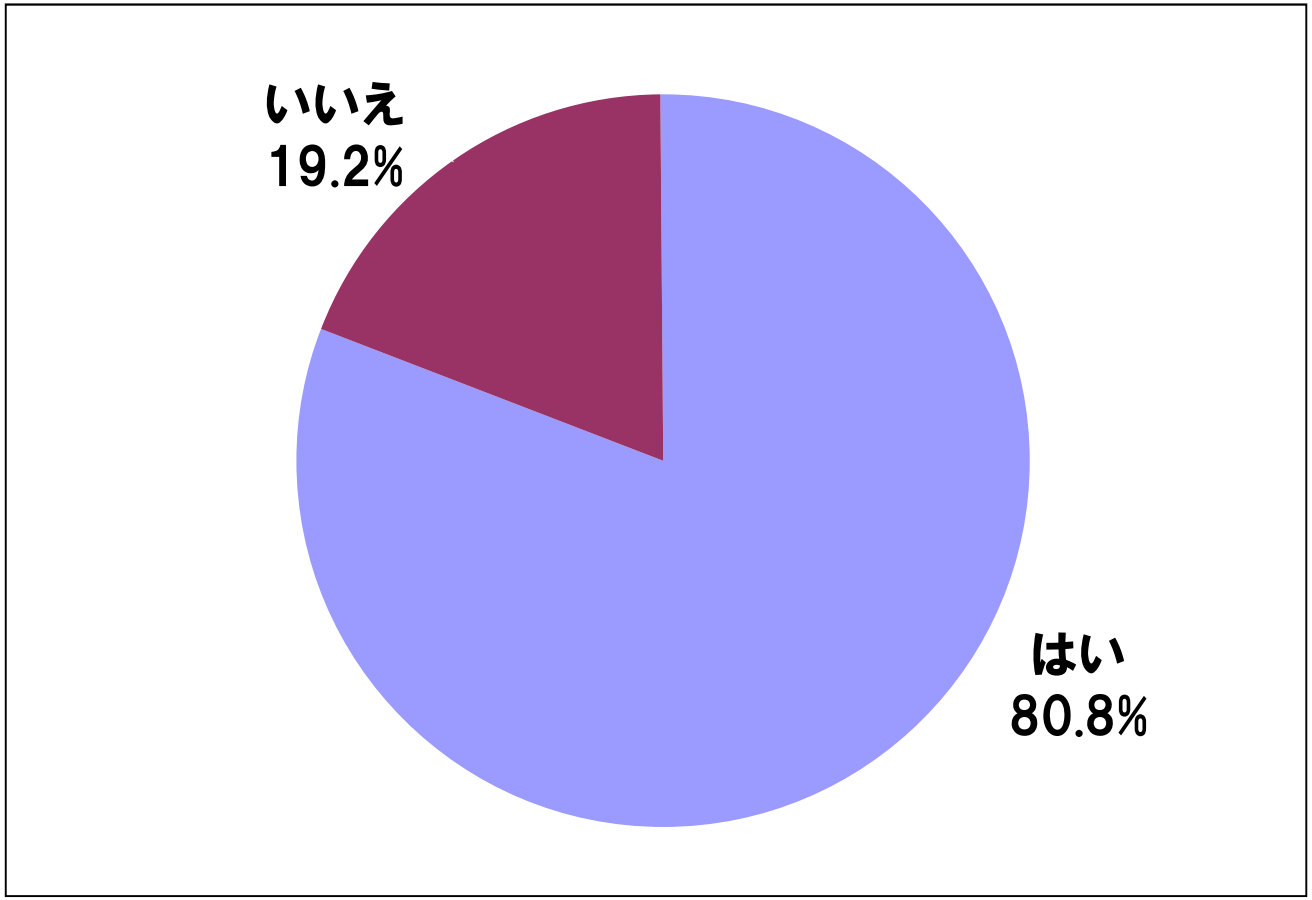


企業人事採用担当者

n:　1174

２－１－２　採用･選考過程や人材育成において、求める人物像（人材要件）を明確化していますか　【対企業】

･80.8%の企業が、求める人物像を明確化している。

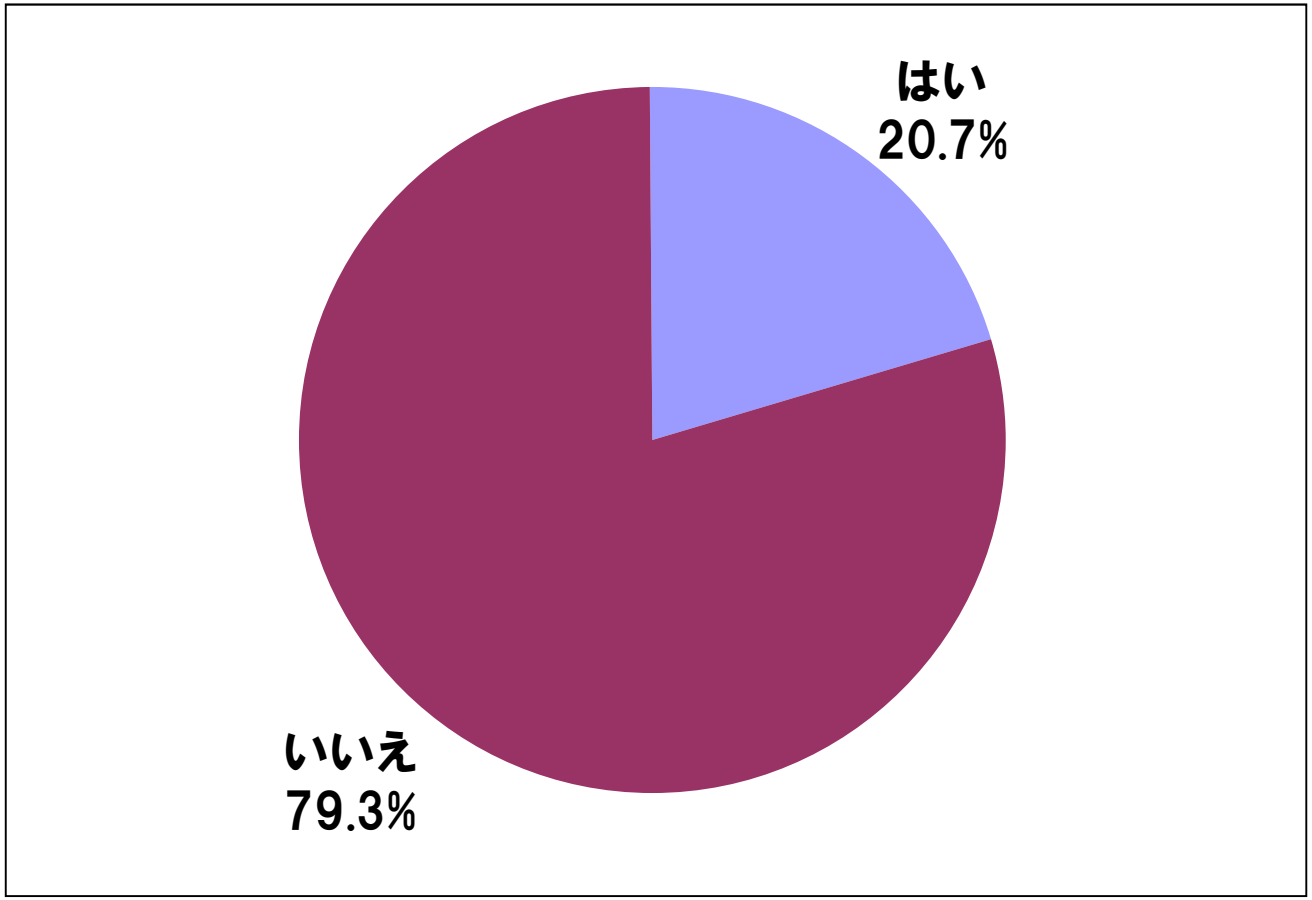


企業人事採用担当者

n:　1173

2‐1‐3 採用･選考過程や社員の人材育成において「社会人基礎力」の指標･概念を活用しているか 【対企業】

･採用･選考過程への「社会人基礎力」の指標･概念の活用は20.7%にとどまっている。各社独自での人材要件の明確化や選考指標･概念の活用に取り組んでいる企業が多いと考えられる。



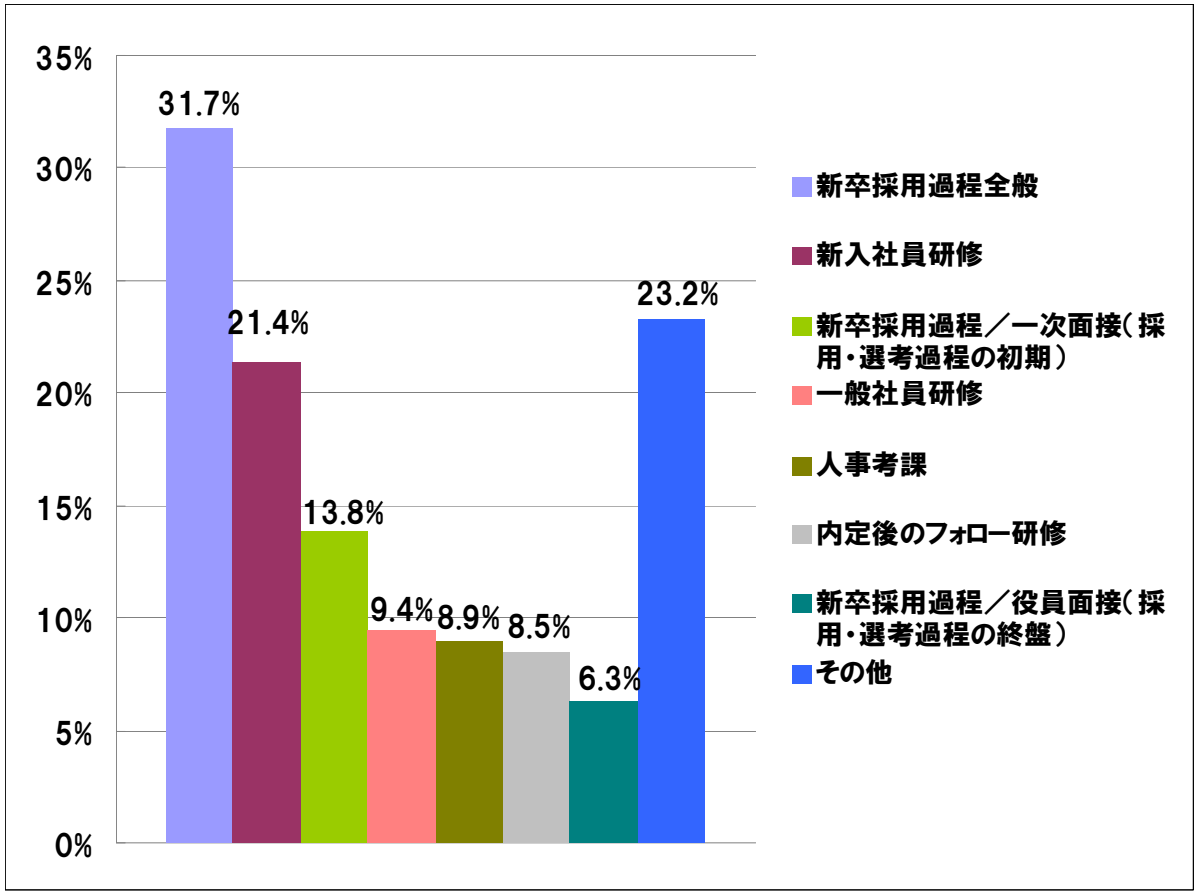
企業人事採用担当者

n: 1166

2‐1‐4 社会人基礎力の指標･概念をどのような場合に活用しているか 【対企業】

･「新卒採用過程全般」、「新入社員研修」において社会人基礎力の指標･概念が活用されている。

･企業への入口、入口直後といった若い人材を対象にした機会で活用されている。



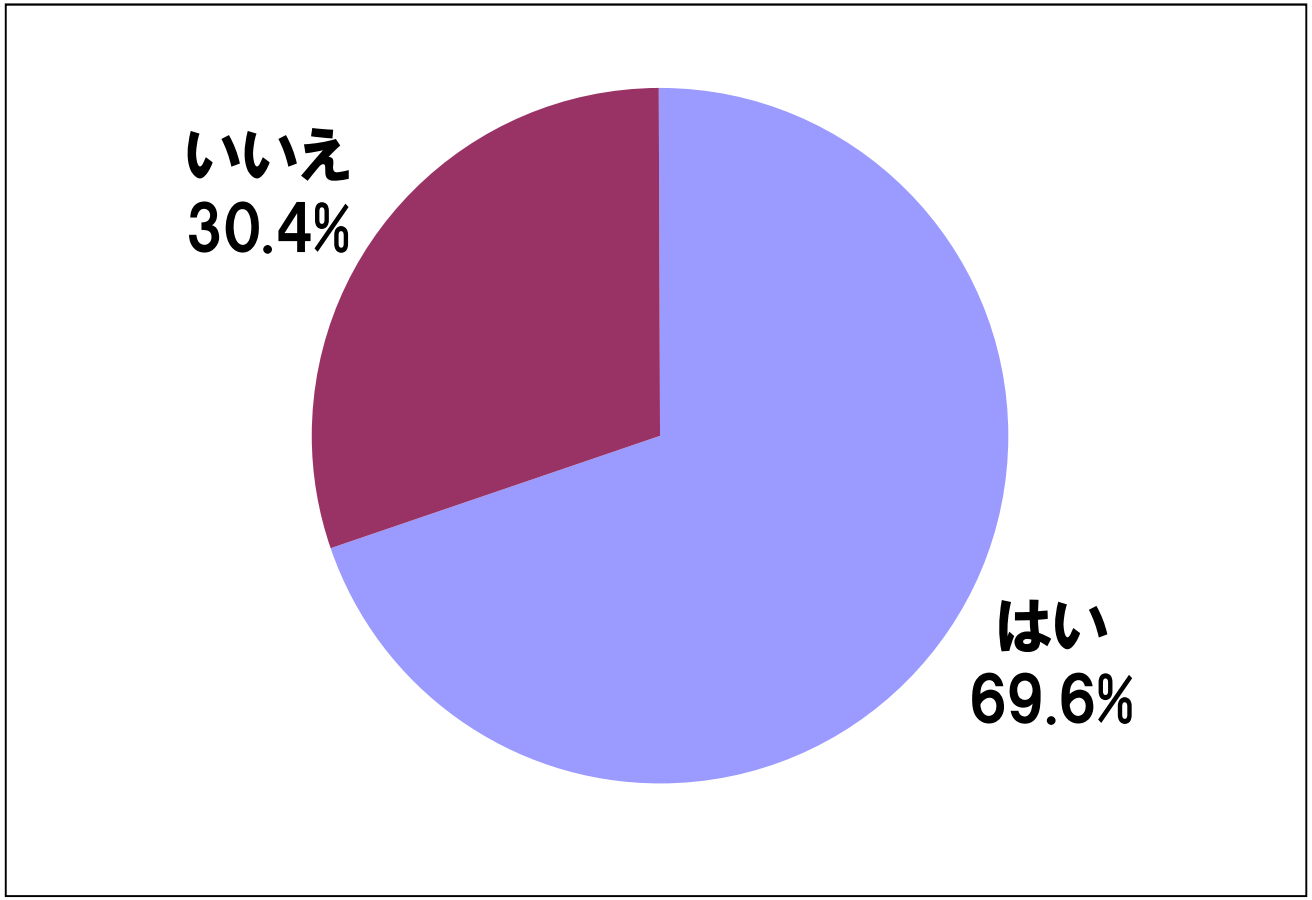
※複数回答可

企業人事採用担当者

n： 785

2‐1‐5 「社会人基礎力」の指標･概念を今後、採用･選考過程での人物評価の要素や人材育成において活用するか 【対企業】

･社会人基礎力の指標･概念を、採用活動に活用していきたいと考える企業が7割を占めている。自社独自の指標･概念と、社会人基礎力が合致していると考えられる。

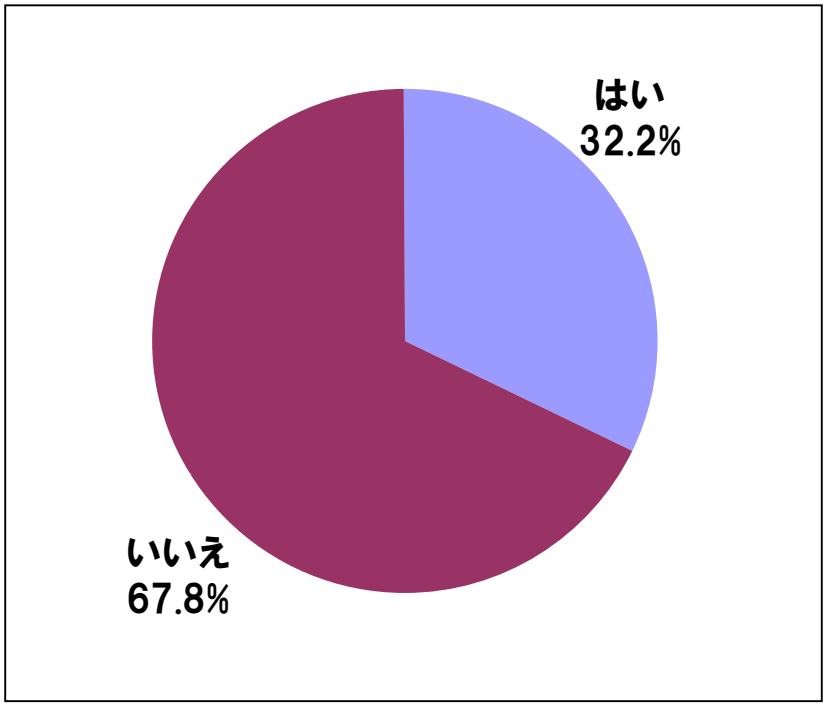


企業人事採用担当者

n: 1083

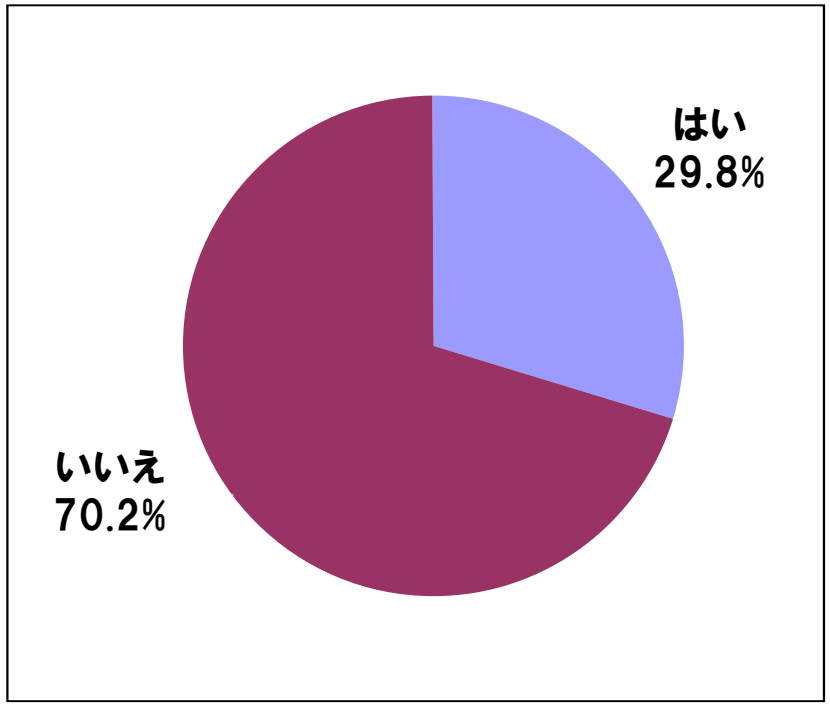
２－２－１ 「社会人基礎力」という概念を知っていたか【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生・外国人留学生ともに、「社会人基礎力」という概念を知らない学生の方が多い（日本人学生：約６７％、外国人留学生：約７０％）。「社会人基礎力」の認知度は約30％にとどまっている。



n： 1589

日本人学生



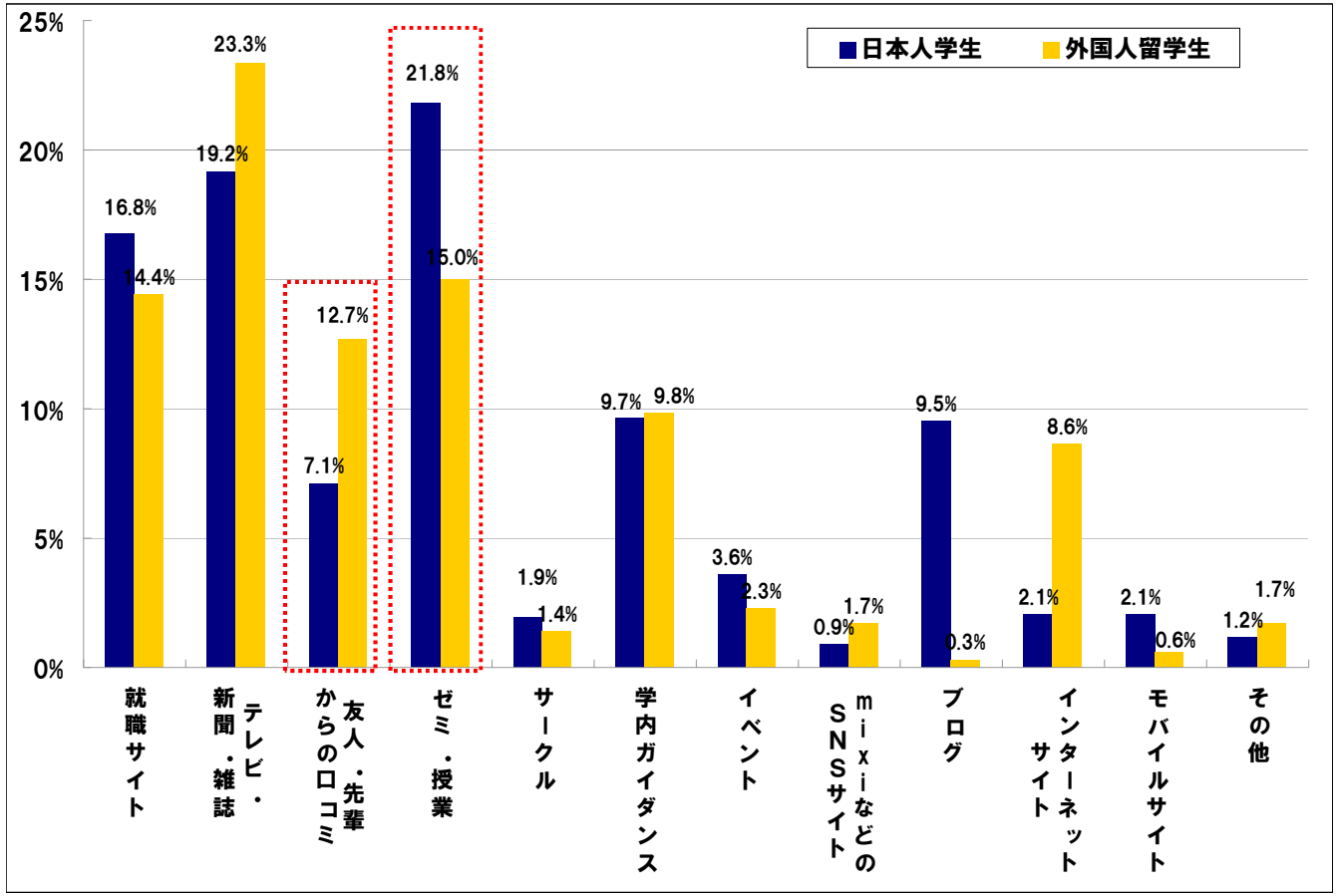
n： 516

外国人留学生

2－2－2　(2－2－1で「はい」と回答した方のみ)「社会人基礎力」を何を通して知ったか【対日本人学生・対外国人留学生】

・上位3位(「就職サイト」「テレビ・新聞・雑誌」「ゼミ・授業」)までは、日本人学生、外国人留学生ともに同じ結果となった。

・メディアから情報を入手している学生が多い一方で、「ゼミ・授業」が社会人基礎力を知るきっかけとなっている学生も多い。



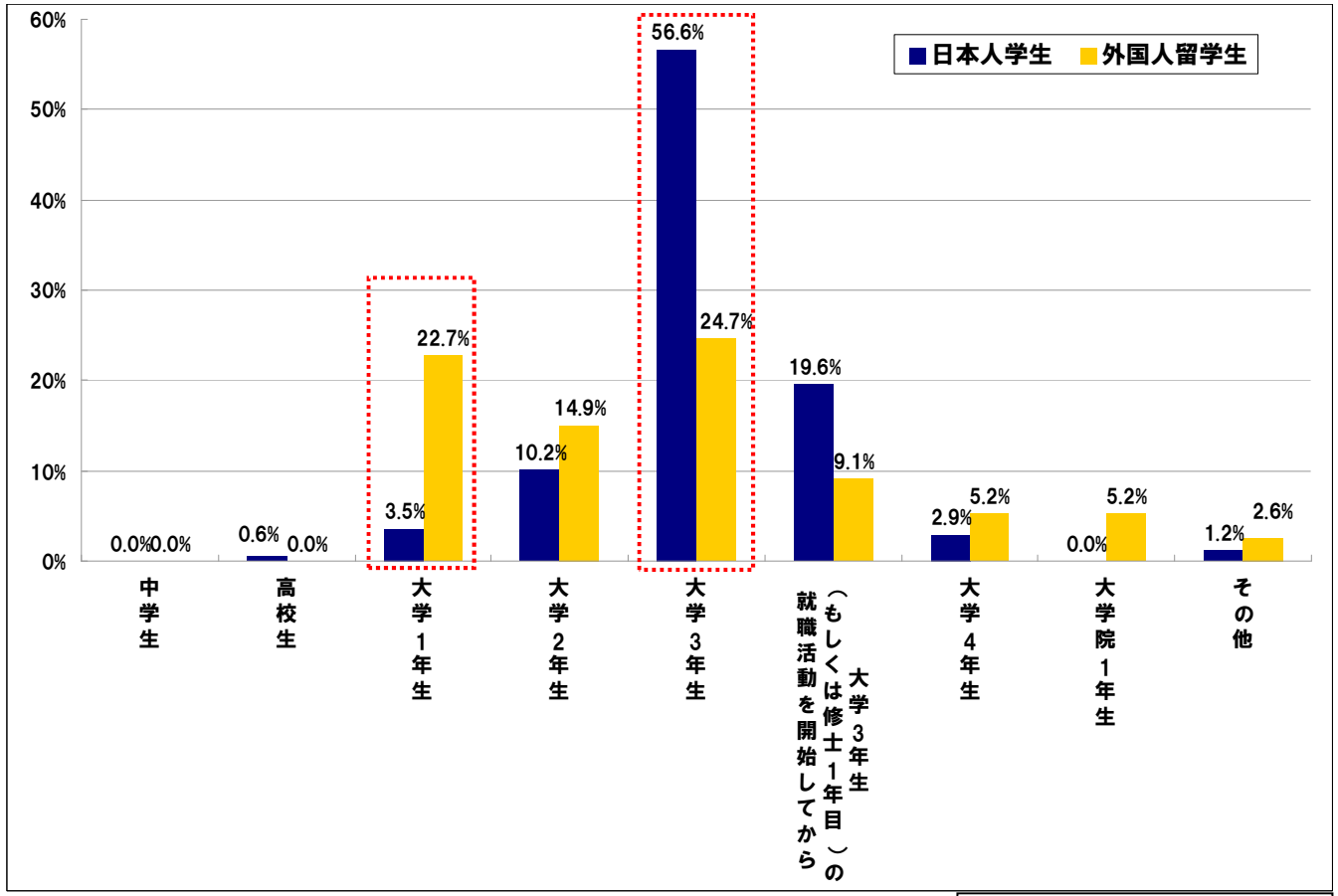
※複数回答可

n: 645　319

2－2－3 （2－2－1で「はい」と回答した方のみ）「社会人基礎力」を、いつ知ったか？【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生・外国人留学生ともに、「大学3年生」の間に「社会人基礎力」を知った学生が多かった。就職活動に関する準備をはじめ、情報収集を実施する過程で、社会人基礎力を認知する学生が多いのではないかと思われる。

・一方、「大学1年生」で「社会人基礎力」を知ったと回答する外国人留学生も多い。

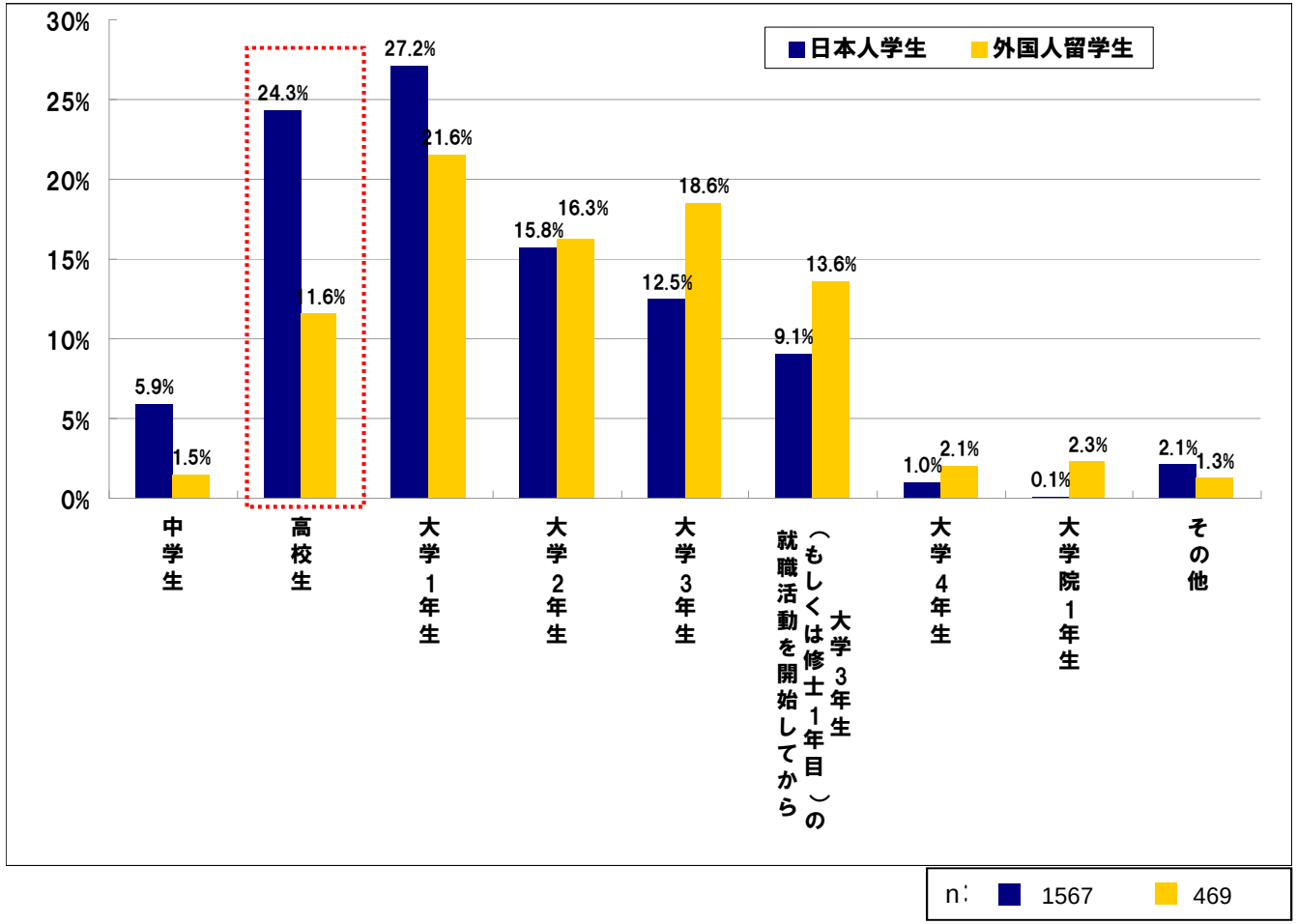


※複数回答可

n: 483 130

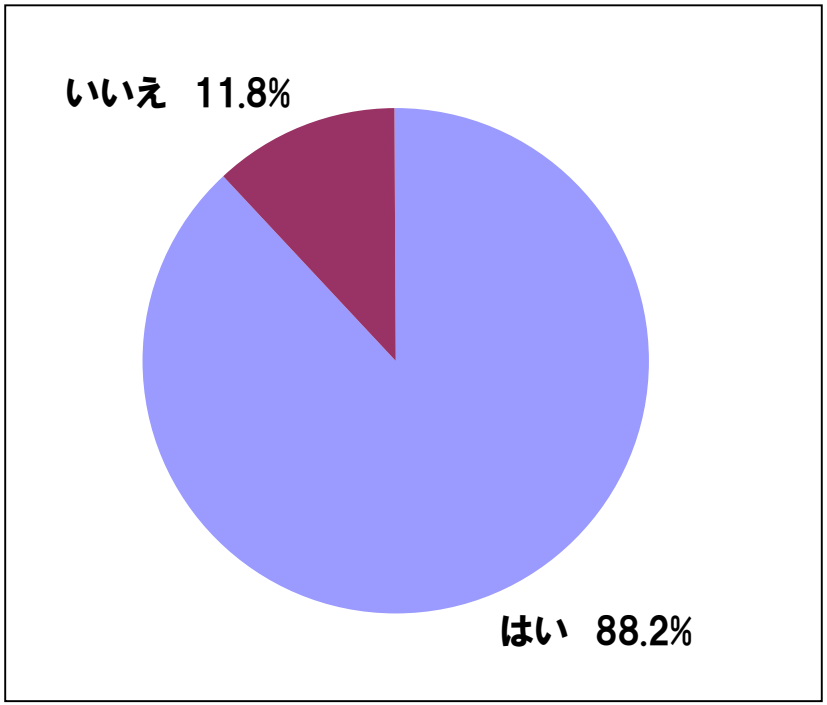
2‐2‐4 「社会人基礎力」の内容を知るのは、どの時期が一番望ましいと思うか 【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生の回答者の多くが、高校生・大学1年生の間に知るのが望ましいと考えている。【2‐2‐3】において、「大学3年生」の間に社会人基礎力を知った学生が多かったことに対し、実際には、大学の入学前後に知ることを望む学生が多い。
・一方で、外国人留学生に関しては、「大学1年生」「大学2年生」「大学3年生」との回答が多い。



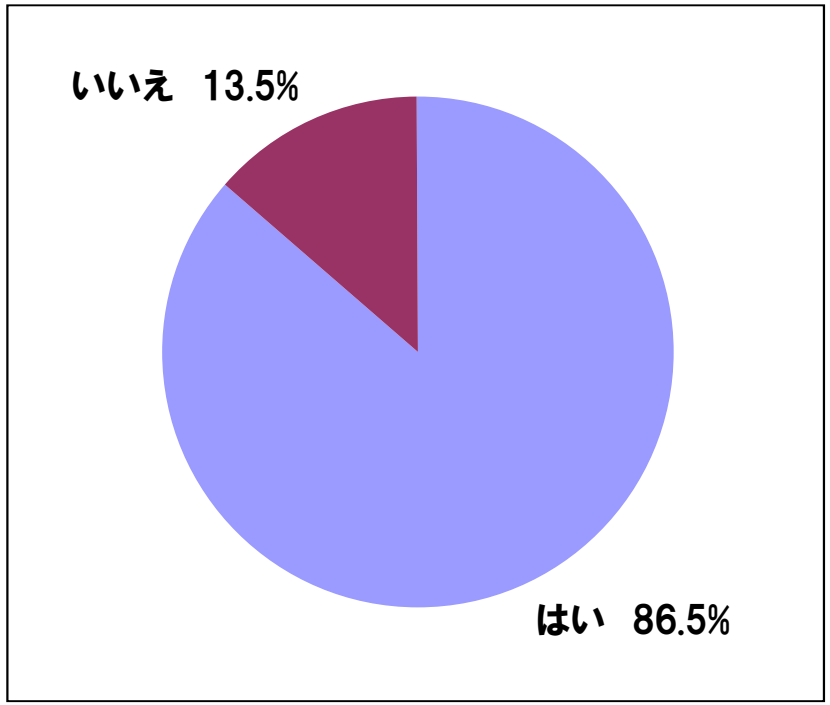
2‐2‐5　「社会人基礎力」の内容は、自分にとって役に立つと思うか（1つだけ）　【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生・外国人留学生ともに、約9割の学生が「社会人基礎力」の内容は、自分にとって役に立つと考えている。



n：　1567

日本人学生

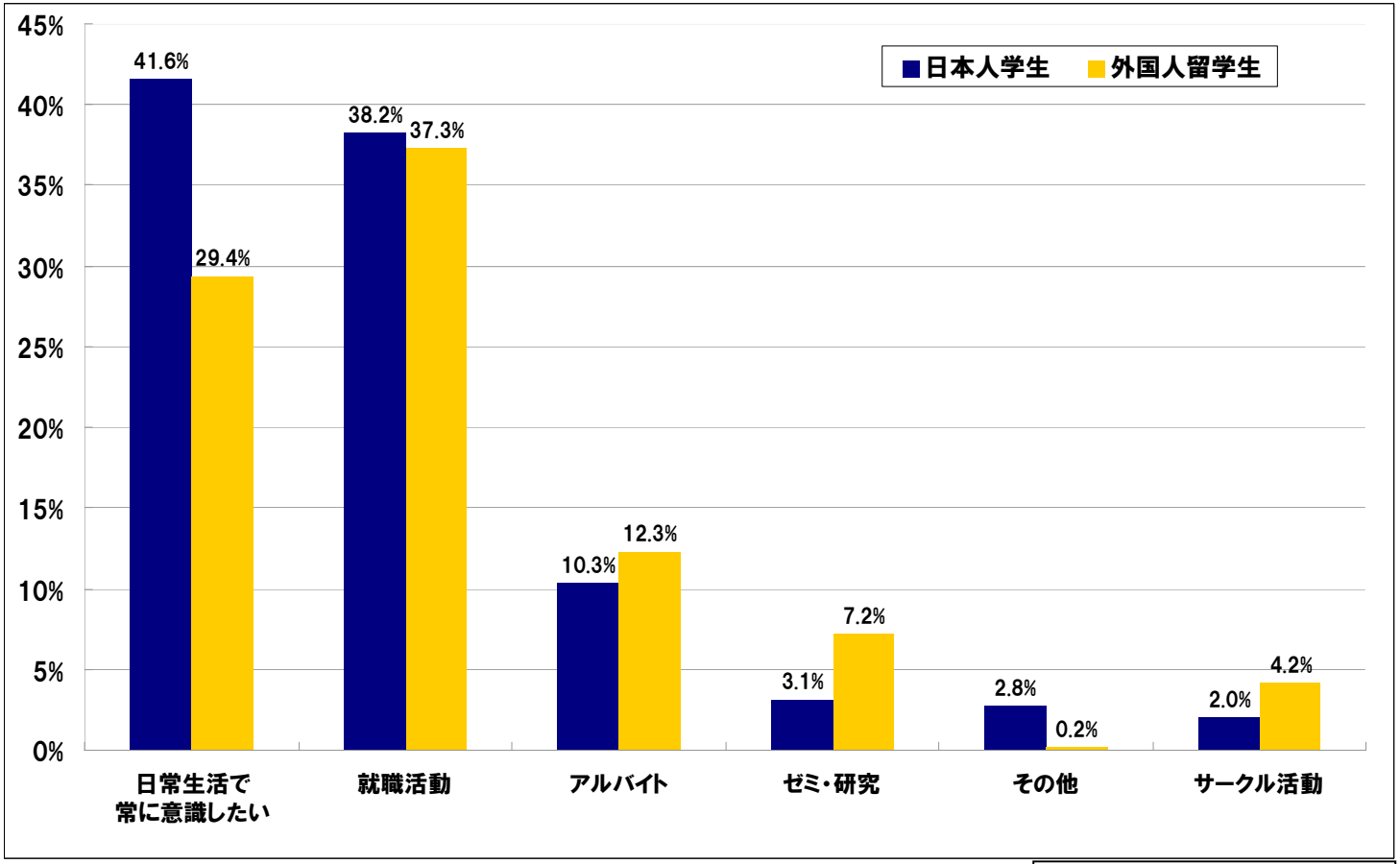


n：　475

外国人留学生

2‐2‐6 「社会人基礎力」をどのような場面で活用したいと思うか 【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生・外国人留学生ともに、社会人基礎力を「日常生活で常に意識したい」、また「就職活動」の場で活用したいと思う学生が多い。
・多くの回答者が日常生活で常に意識したいと考えている。一方で就職活動を行う上で活用できると考えている回答者も多い。社会人基礎力を身につけることが社会に出るための準備と考える学生が多いと推測出来る。



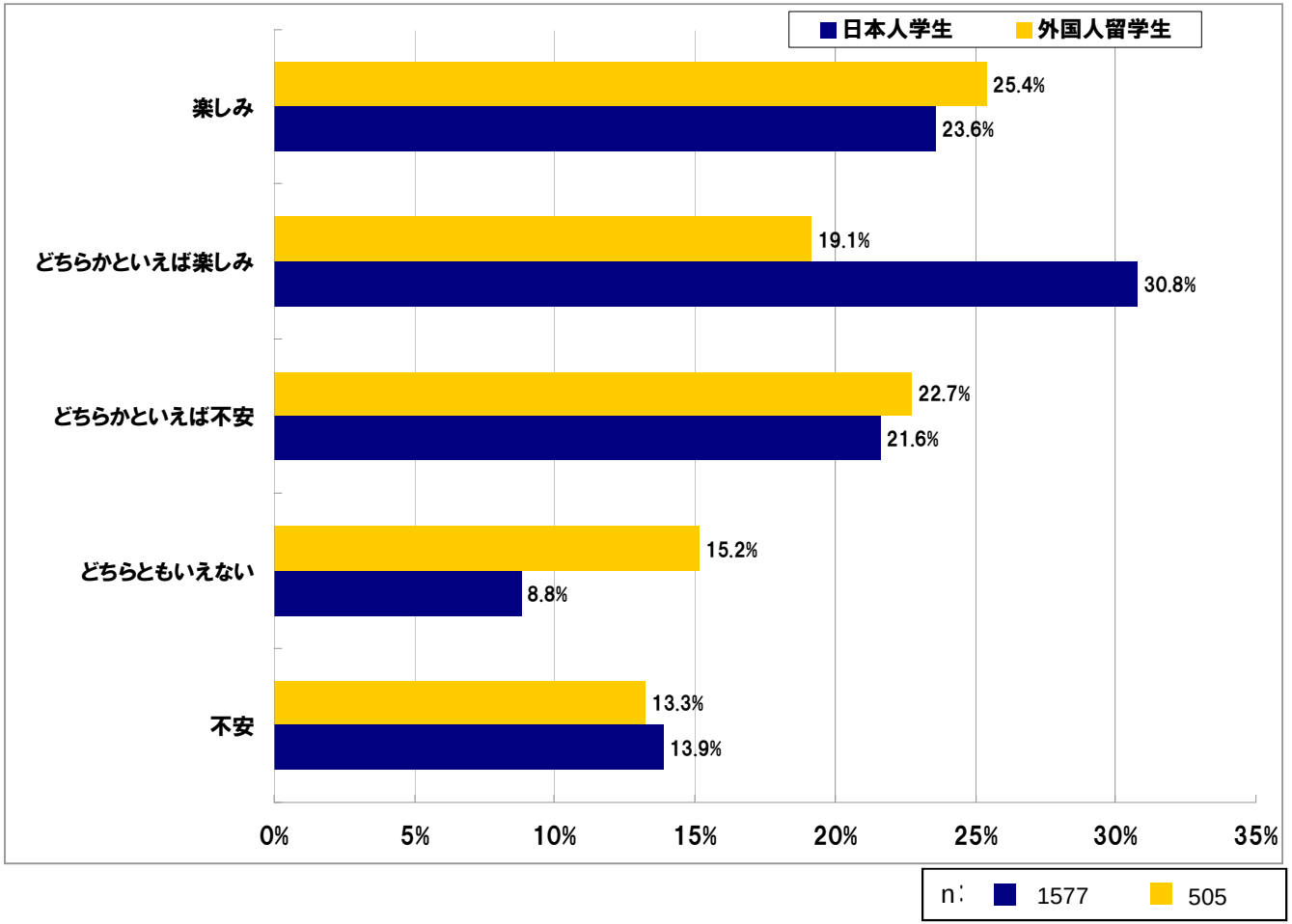
n: 1566 478

3：日本人学生・外国人留学生の考える「社会人観」

3‐1‐1 社会に出ることに対するイメージ【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生は、「楽しみ」「どちらかといえば楽しみ」の回答が過半数を占めた。多くの回答者が社会に出ることを「楽しみ」とイメージしているようである。

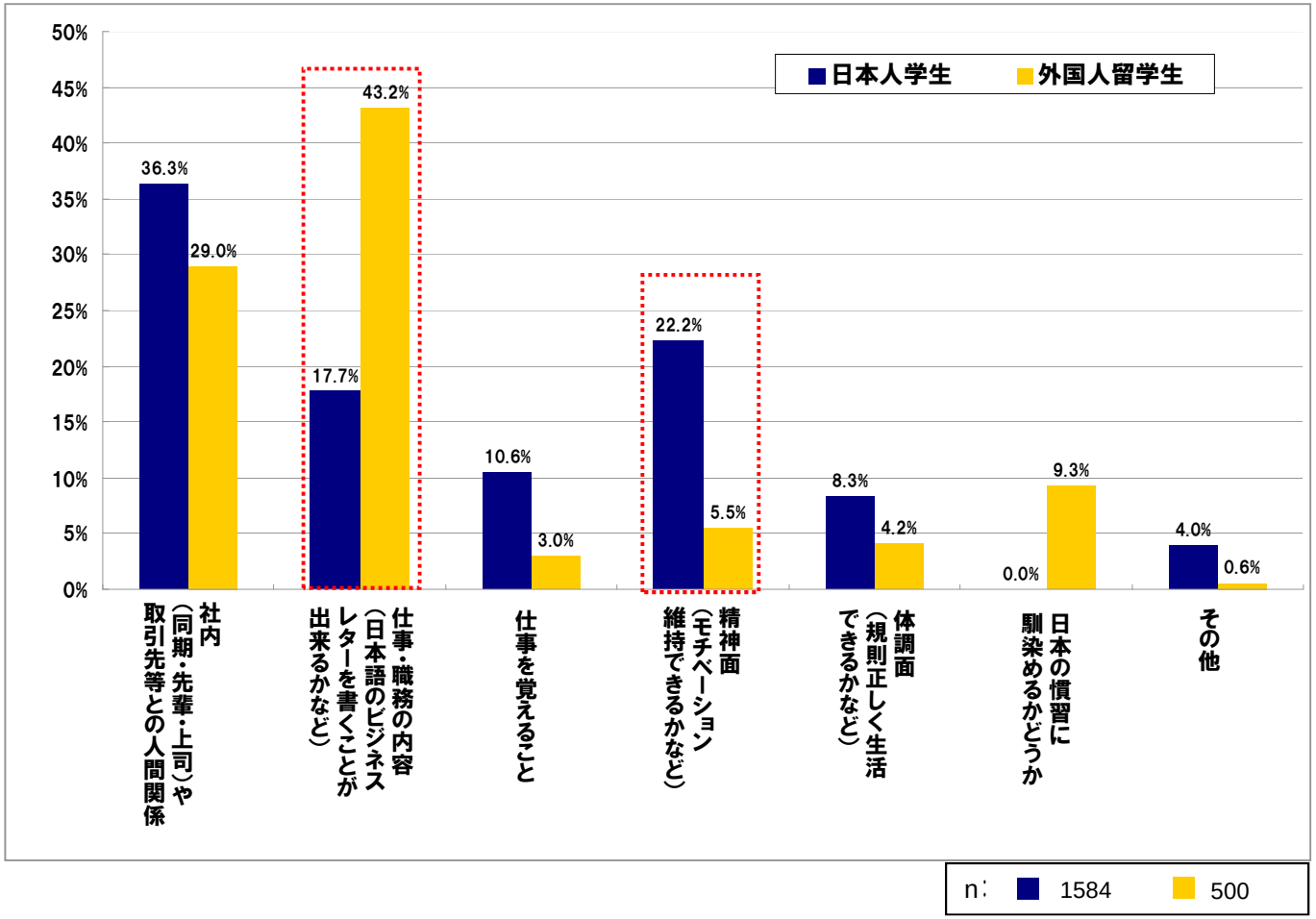
・一方、外国人留学生は、「楽しみ」が最も多く、「どちらかといえば不安」が続く。社会に出ることが「楽しみ」な回答者と「不安」な回答者が混在しているようだ。



3－1－2 社会に出るにあたり、不安に思うこと【対日本人学生・対外国人留学生】

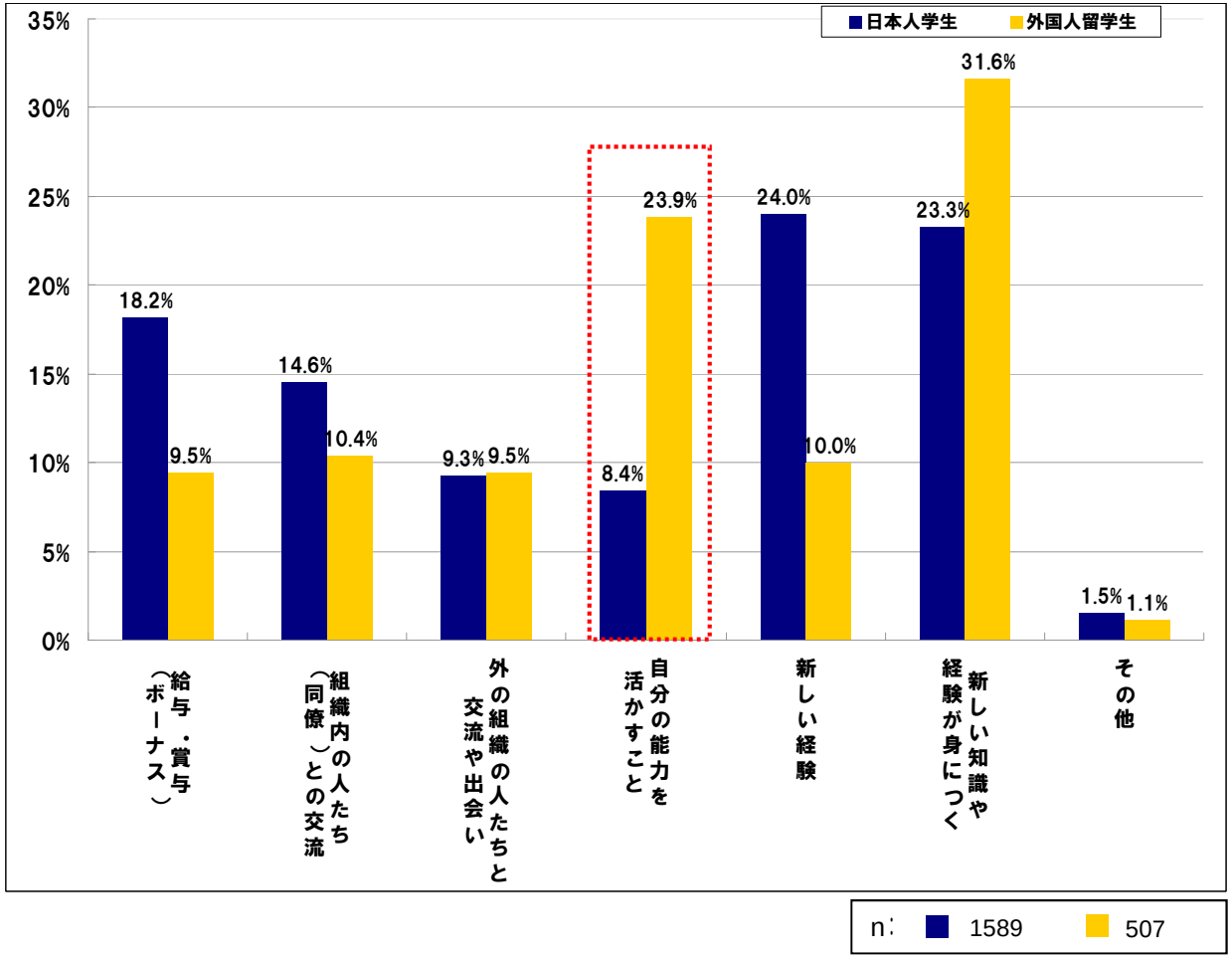
・社会に出るにあたり、「社内（同期・先輩・上司）や取引先等との人間関係」や、「精神面（モチベーションを維持できるか）」を不安に思っている日本人学生が多い。

・一方で、多くの留学生が「仕事・職務の内容（日本語のビジネスレターを書くことができるかなど）」や「社内（同期・先輩・上司）や取引先等との人間関係」を不安に思っている。「語学力」という留学生特有の不安は多くの回答者が持っている。



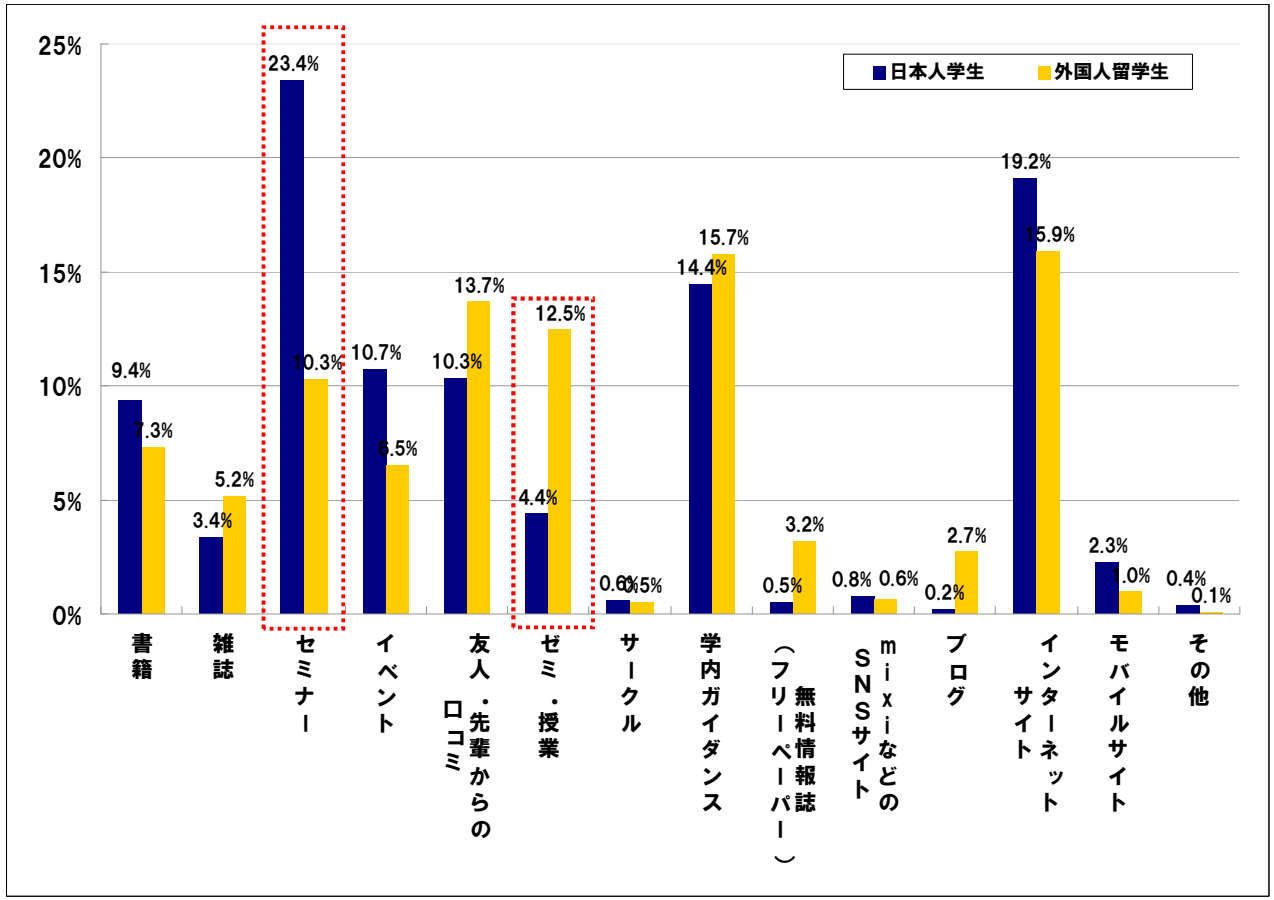
3‐1‐3 社会に出ることをイメージした時、最も楽しみなこと【対日本人学生・対外国人留学生】

・社会に出ることをイメージした時、「新しい経験」や「新しい知識や経験が身に付く」「自分の能力を活かすこと」を楽しみにしている日本人学生が多く、外国人留学生の回答は、「新しい知識や経験が身に付く」「自分の能力を活かすこと」が多い。
・日本人学生と比べ、外国人留学生は社会で自分の能力を活かすことに対する回答数が多いのが特徴。



3‐2‐1 キャリア形成や就職に関する情報をどのように入手しているか【対日本人学生･対外国人留学生】

・日本人学生は、「インターネット」を活用すると同時に、「セミナー」「学内ガイダンス」といった学内外で情報を集めている回答者が多い。一方で、外国人留学生は、「学内ガイダンス」、「友人･先輩からの口コミ」、「ゼミ･授業」など、大学内での情報収集に留まっている。

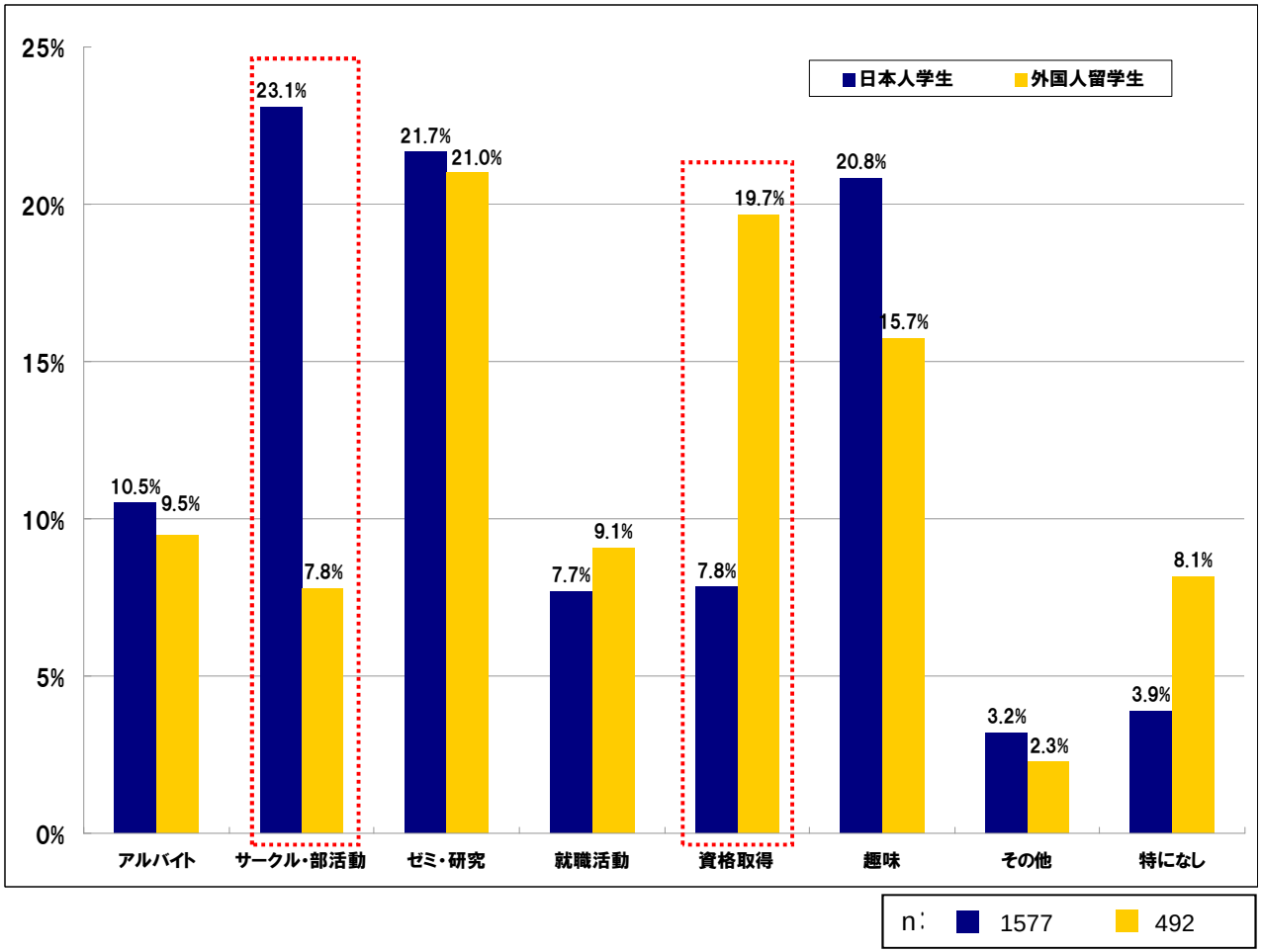


※上位3つまで回答

n: 4055 1083

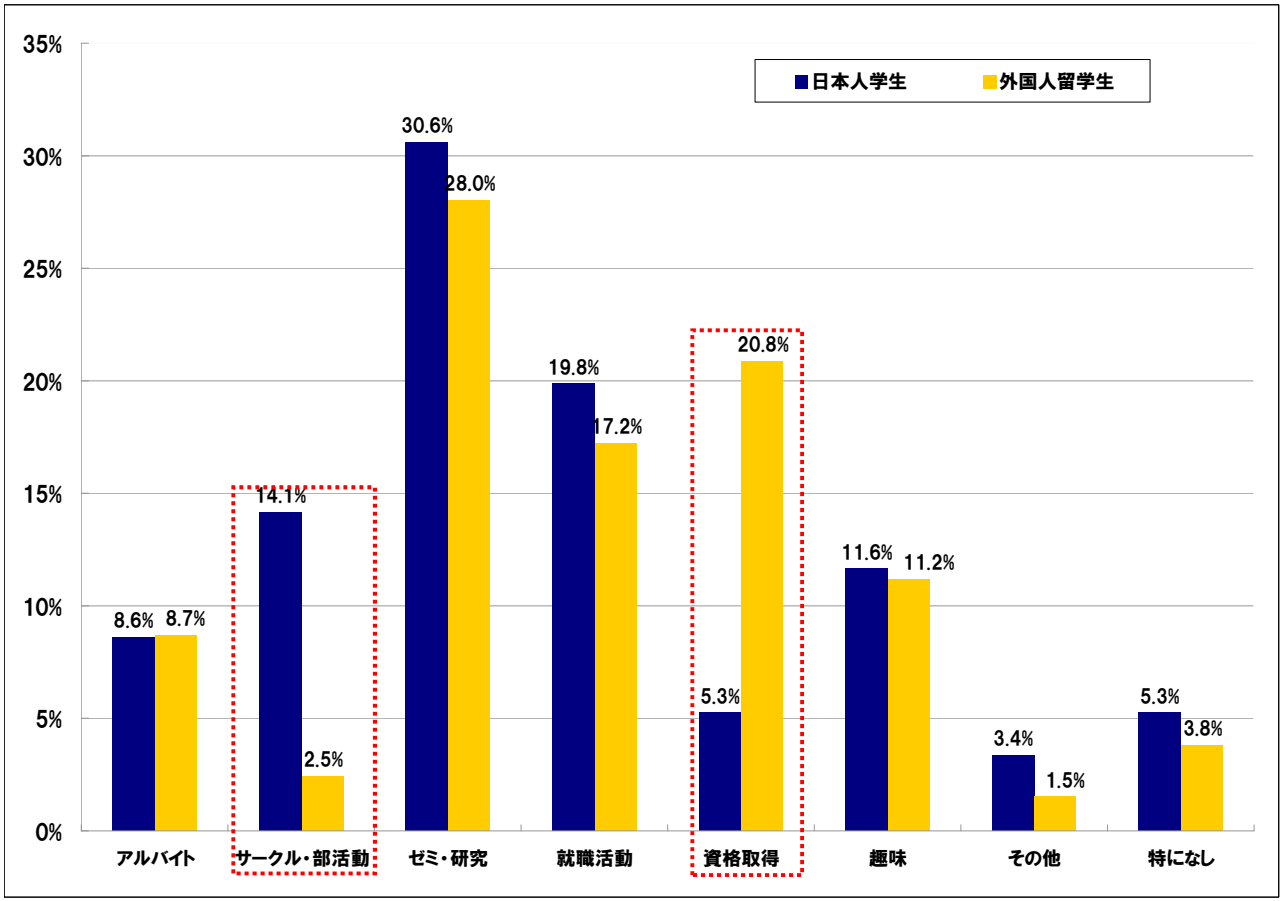
3‐2‐2 学生生活の中で最も興味があること【対日本人学生・対外国人留学生】

・学生生活の中で最も興味があることとして、日本人学生は、「サークル・部活動」「ゼミ・研究」、「趣味」の回答数が多いが、外国人留学生は、「ゼミ・研究」や「資格取得」の回答が多い。



3‐2‐3 学生生活の中で最も優先順位が高いこと【対日本人学生・対外国人留学生】

・日本人学生は、「ゼミ・研究」、「就職活動」の回答数が多いが、外国人留学生は、「ゼミ・研究」や「資格取得」の回答が多い。



n: 1578 495

3‐2‐4 就職にあたって企業に期待すること（自由記述）

日本人学生

・年代関係なく多くの方々と交流していけること。
・組織間でコミュニケーションが取れていて、お互いに支えあえるような会社が増えてほしい。
・たくさんの人と出会うのが楽しみ。
・やりがいがあるかどうか。自分ががんばった分、ちゃんと認められるかが心配。
・人物重視の選考をしてほしい。
・日々新しい人々に出会い、新しく発見する、学ぶことが出来ることできる職場で働きたい。
・人間的に出来る限りのやり方で経験を積ませていただくこと。
・自分も成長できて、かつ、人の役に立てること。　等

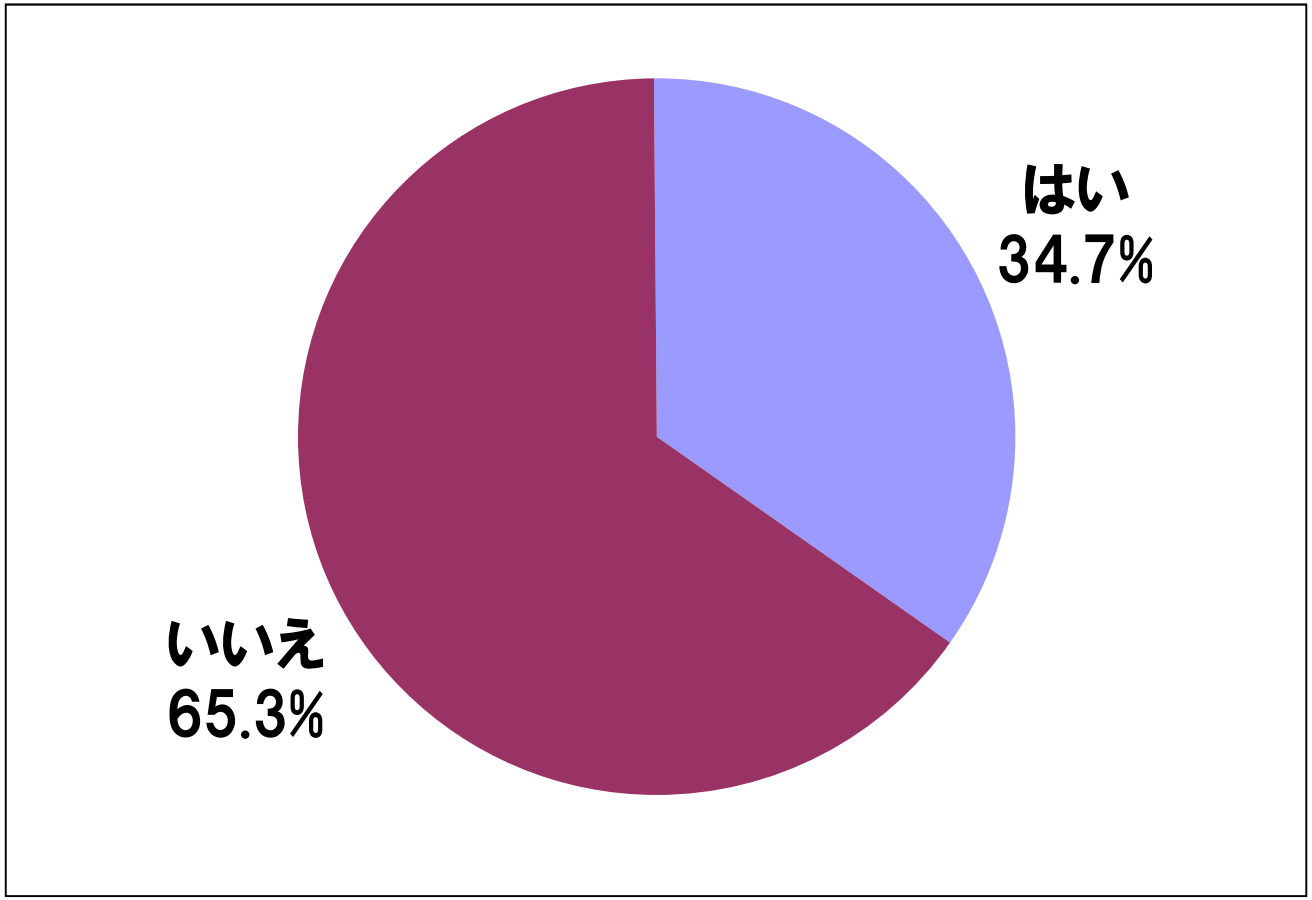
外国人留学生

・自分の能力を十分に発揮すれば良い。
・自分と共に成長できる企業に出会いたい。
・採用の手続き課程をもっと簡単にして欲しい。留学生をもっと信用して欲しい。
・自分の能力を活かすこと。　等

4：その他

4‐1　講師派遣、寄付講座、技術･商品協力等で大学教育に協力しているか【対企業】

･大学教育に協力している企業は３４．７％に留まる。



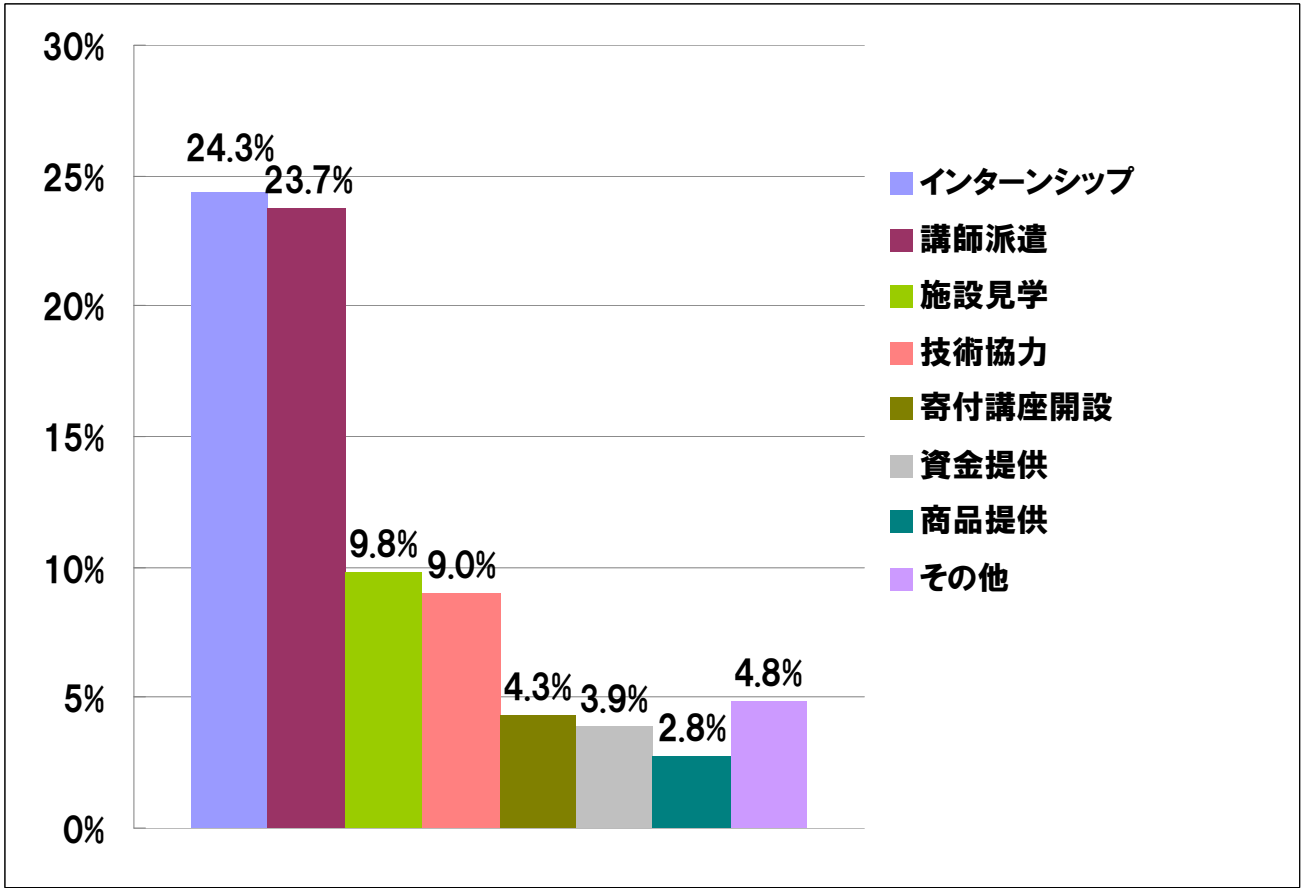
企業人事採用担当者

n:　1160

4－2 （4－1で「はい」と回答された方のみ）どのような協力をしているか【対企業】

・「インターンシップ」や「講師派遣」という回答が大勢を占める。

・企業の協力については、「学生を受け入れる」もしくは「講演のために人を派遣する」といった分野に集中している。

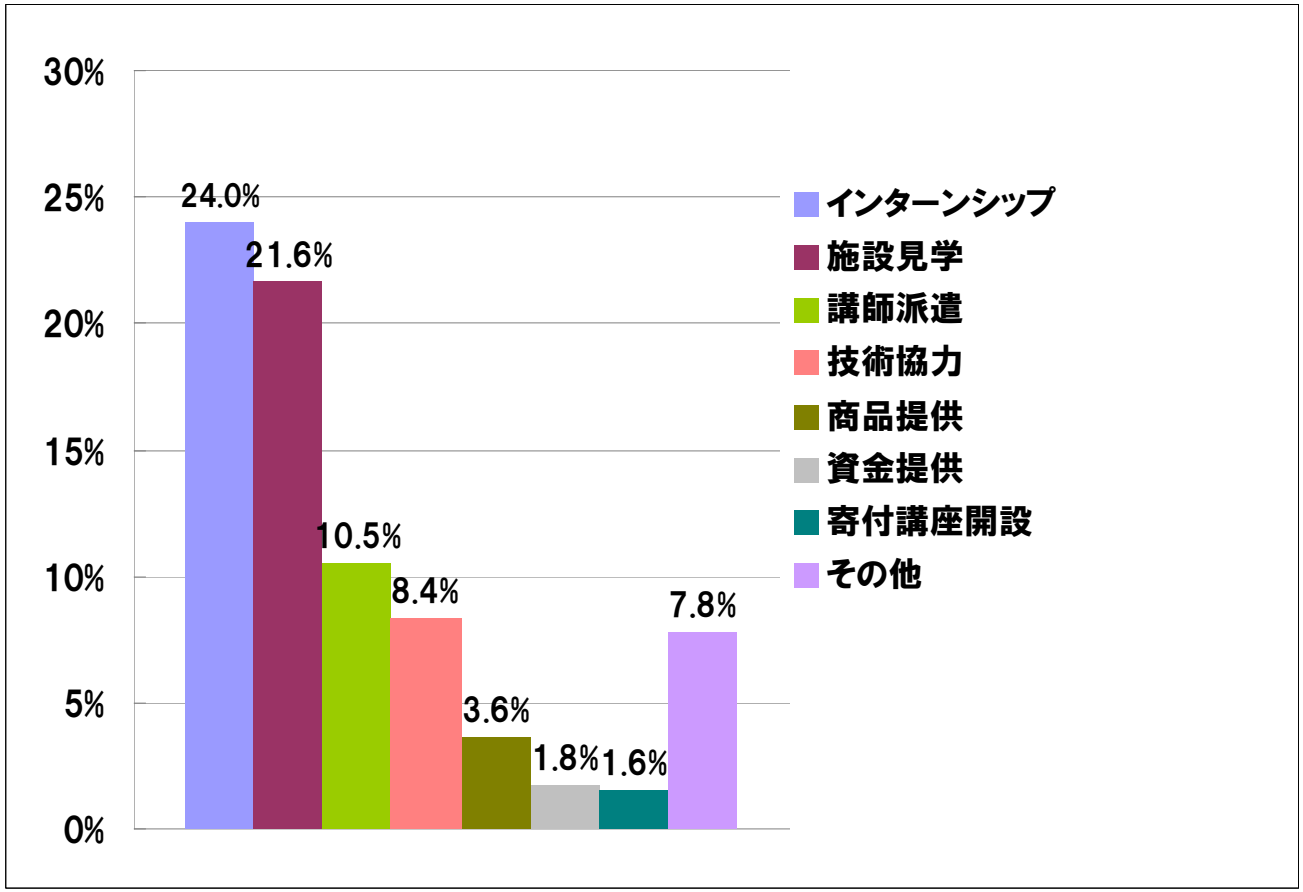


企業人事採用担当者

n： 686

4－3（4－1で「いいえ」と回答された方のみ）どのような形ならば協力が可能か【対企業】

・「インターンシップ」や「施設見学」との回答が多い。



n: 813

企業人事採用担当者